

## 主婦の就業に関する追跡調査 2016

- 2013年12月に行った「主婦の就業に関する1万人調査」、および2015年3月に行った「主婦の就業に関する追跡調査」の回答者に対して、その後の就業状況の変化等について、追跡調査を行った。
- 回答者（既婚、子供あり）の年齢を見ると「45～49歳」が最も多く20.1%、「50～54歳」が次いで19.3%。回答者の就業状況は、「パート・アルバイト」が最も多く41.3%、「現在仕事はしていない」が次いで39.1%。2013年調査に比べて年齢は上がり、「パート・アルバイト」が多く「現在仕事はしていない」が少ない。
- [Part2 パート・アルバイト就業者の実態] 現在の週休日数は、「週休2日」が35.4%、「週休3日」が32.3%。2013年調査に比べて、「週休3日」以上が増加している。休日の曜日を見ても、平日が休日の人が増加している。
- [Part3 パート・アルバイト就業者の意識] 就業調整について、「調整をしている」との回答は42.4%。その理由は、「配偶者控除を受けるため」62.7%、「自分の所得税の非課税限度額を超えないようにするため」46.8%など。
- [Part4 非就業者の意識] 2016年事前調査において今後の就業意向を聞くと、2013年調査に比べて、「よい仕事があれば職業をもちたい」や「いずれは職業をもちたい」が減少し、「職業をもつつもりはない」が増加している。
- [Part5 就業状況の変化] 2015年調査と2016年調査のいずれかで「入職した」と回答した人は6.9%、「離職した」5.7%、「転職した」6.0%、「同じ仕事で条件変化あり」11.3%となった。入職した人は40代後半までが比較的多く、離職した人は30代前半と50代後半以上に多い。
- 入職した人にその理由・きっかけを聞くと、「経済的な事情から」が21.5%で最も多く、「希望する勤務時間の募集があったから」「希望していた職種の募集があったから」「友人、知人に誘われたから」などが上位に挙がった。2013年調査で「すぐにでも職業をもちたい」と回答した人のうち、2015年調査あるいは2016年調査で「入職した」と回答したのは36.5%だった。

### 調査概要

	主婦の就業に関する再追跡調査 ＜2016年調査＞	主婦の就業に関する追跡調査 ＜2015年調査＞	主婦の就業に関する1万人調査 ＜2013年調査＞
調査目的	主婦の就業状況の変化について、実態と要因を明らかにすること	主婦の就業状況の変化について、実態と要因を明らかにすること	主婦の就業・求職実態（状況、行動、意義）、普段の情報接触実態を明らかにすること
調査方法	インターネット調査（マクロミル社モニター利用）		
調査期間	2016年12月27日(火) ～2017年1月12日(木)	2015年3月10日(火) ～3月16日(月)	2013年12月17日(火) ～12月20日(金)
調査対象	前回（2015年）事前調査回答者。 2015年調査時も2016年調査時も無職で、就業意向のない人は除く。  本調査 n=1,649 事前調査 n=5,140  ※うち既婚・子供あり層 本調査 n=1,205 事前調査 n=3,954	1万人調査回答者のうち、当時から就業状況の変化（入職／離職／転職／条件変化）があった人。  本調査 n=1,283 事前調査 n=7,546  ※うち既婚・子供あり層 本調査 n=866 事前調査 n=5,756	18歳以上、下記在住の女性。  北海道、新潟、東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、岐阜、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、福岡  n=10,240  ※うち既婚・子供あり層 n=6,995

※過去の調査の詳細については、JBRCウェブサイト（<http://jbrc.recruitjobs.co.jp/>）をご覧ください。

## Part1 回答者プロフィール

1-1	回答者の年齢	3
1-2	回答者の就業状況	4
1-3	回答者の就業状況（年齢別）	5

## Part2 パート・アルバイト就業者の実態

2-1	通勤時間	6
2-2	1日の就業時間（現在と希望）	7
2-3	始業時間（現在と希望）	8
2-4	終業時間（現在と希望）	9
2-5	週休日数（現在と希望）	10
2-6	休日の曜日（現在と希望）	11
2-7	業種	12
2-8	職種（大分類）	13
2-9	職種（小分類）	14

## Part3 パート・アルバイト就業者の意識

3-1	仕事の目的	15
3-2	仕事の満足度	16
3-3	年収	17
3-4	就業調整の有無／その理由	18
3-5	社会保険適用拡大の認知／対応	19

## Part4 非就業者の意識

4-1	今後の就業意向	20
4-2	就職への不安度	21
4-3	就職で不安なこと（全体／年齢別）	22
4-4	就職に向けて受講したいもの	23
4-5	（参考）働けなかった理由	24

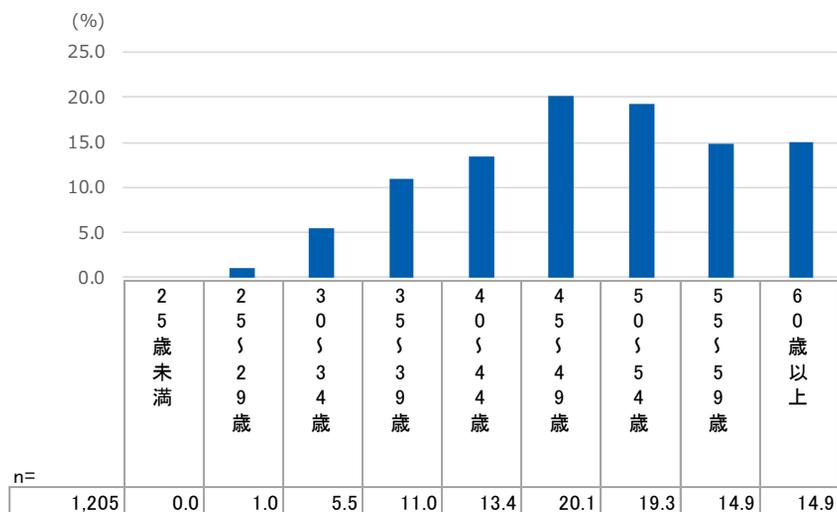
## Part5 就業状況の変化

5-1	就業状況の変化（全体／年齢分布）	25
5-2	変化した人の雇用形態	26
5-3	入職の理由・きっかけ／影響したこと	27
5-4	就業意向と入職した割合／入職者の就職への不安度	28
5-5	離職の理由・きっかけ／影響したこと	29
5-6	転職で変化したこと／転職の理由・きっかけ	30
5-7	（参考）就業状況の変化と仕事満足度	31
5-8	条件変化の内容／賃金の変化	32
5-9	条件変化を希望したか	33

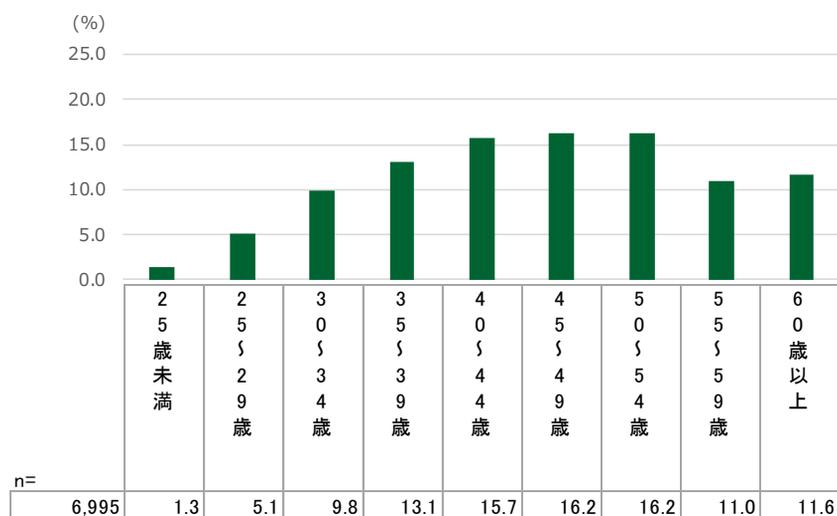
## 1-1. 回答者の年齢

- 回答者（既婚、子供あり）の年齢を見ると、今回の2016年調査では「45～49歳」が最も多く20.1%、「50～54歳」が次いで19.3%となった。2013年調査と比べると、「45～49歳」以上が3ポイント程度ずつ増加し、それ未満は減少している。2013年調査から約3年が経ったこと、対象者の絞り込み等によるものと考えられる。

[2016年調査] Q. 年齢（対象：既婚、子供あり）



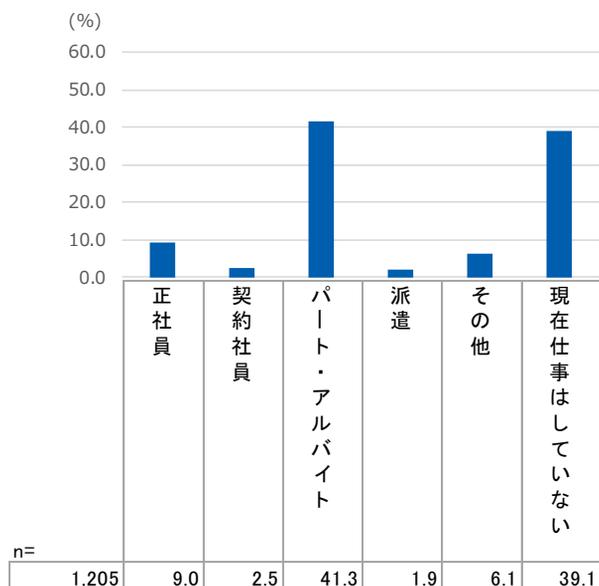
[2013年調査] Q. 年齢（対象：既婚、子供あり）



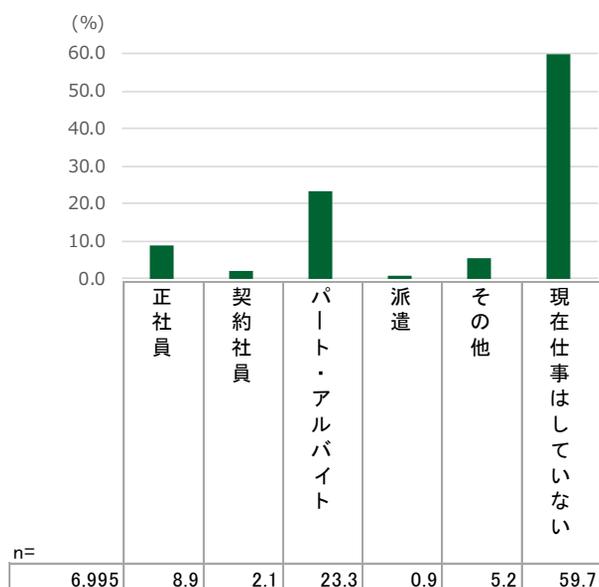
## 1-2. 回答者の就業状況

- 回答者の就業状況を見ると、「パート・アルバイト」が最も多く41.3%、「現在仕事はしていない」が次いで39.1%となった。2015年調査時も2016年調査時も仕事をしておらず就業意向のない人は調査対象から除いているため、2013年調査に比べて「パート・アルバイト」が多く、「現在仕事はしていない」が少なくなっている。

[2016年調査] Q. あなたの現在の就業状況について最もあてはまるものを1つだけお選びください。（対象：既婚、子供あり）



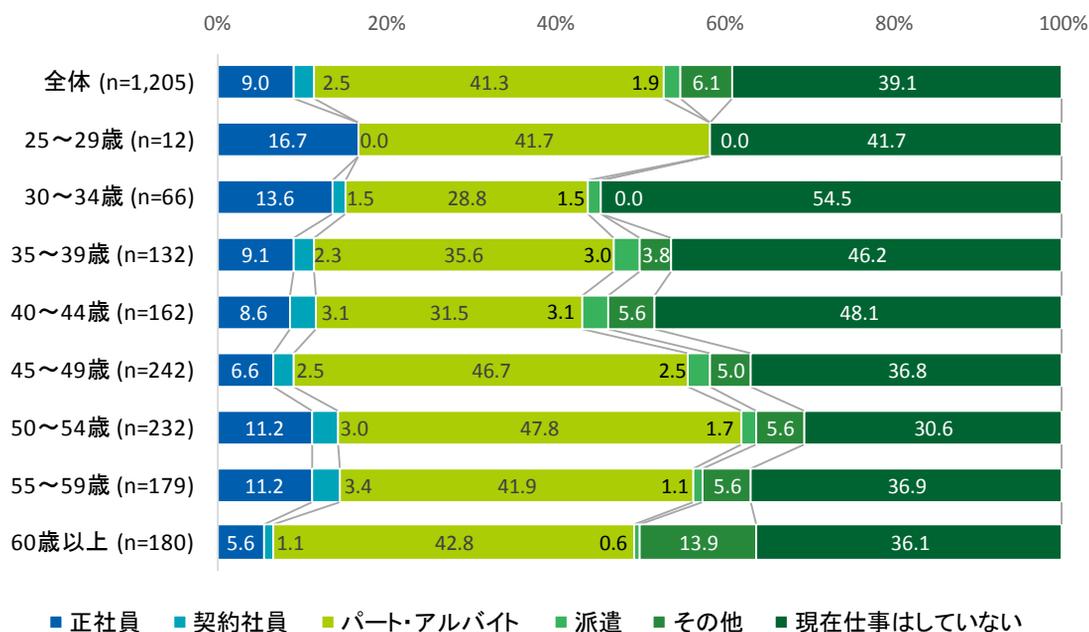
[2013年調査] Q. あなたの現在の就業状況をお答えください。（対象：既婚、子供あり）



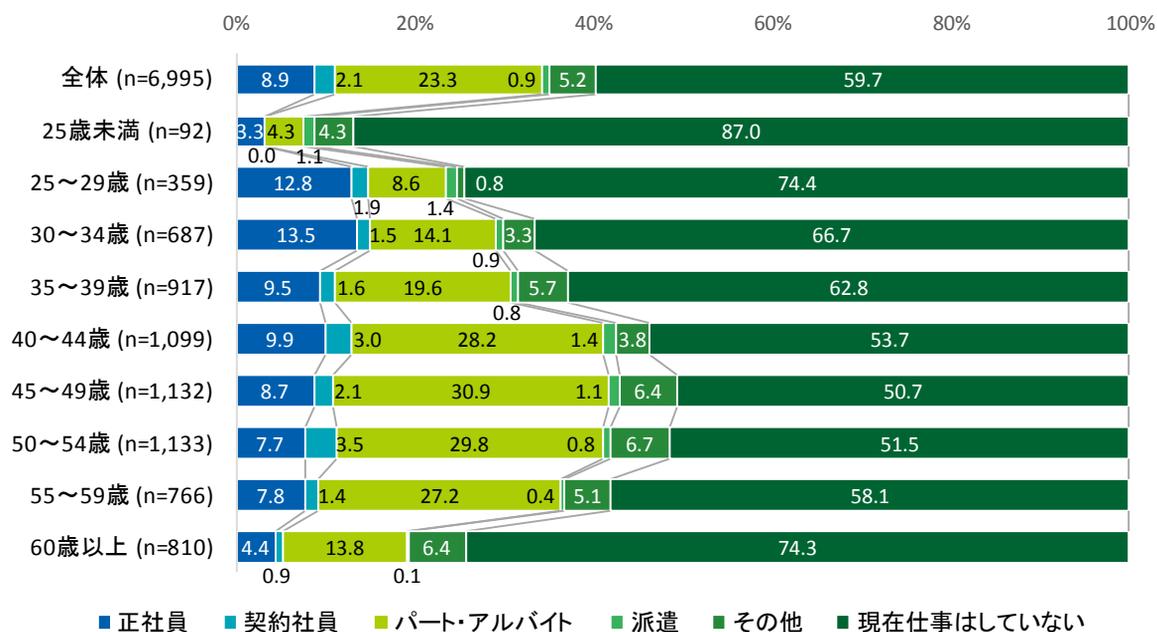
### 1-3. 回答者の就業状況（年齢別）

- 回答者の就業状況を年齢別に見ると、30代～40代前半では「現在仕事はしていない」が最も多いが、40代後半以上では「パート・アルバイト」が最も多くなっている。2015年調査時も2016年調査時も仕事をしておらず就業意向のない人は調査対象から除いているため、2013年調査に比べて「パート・アルバイト」が多く「現在仕事はしていない」が少なくなっている。

[2016年調査] Q. あなたの現在の就業状況について最もあてはまるものを1つだけお選びください。（対象：既婚、子供あり）



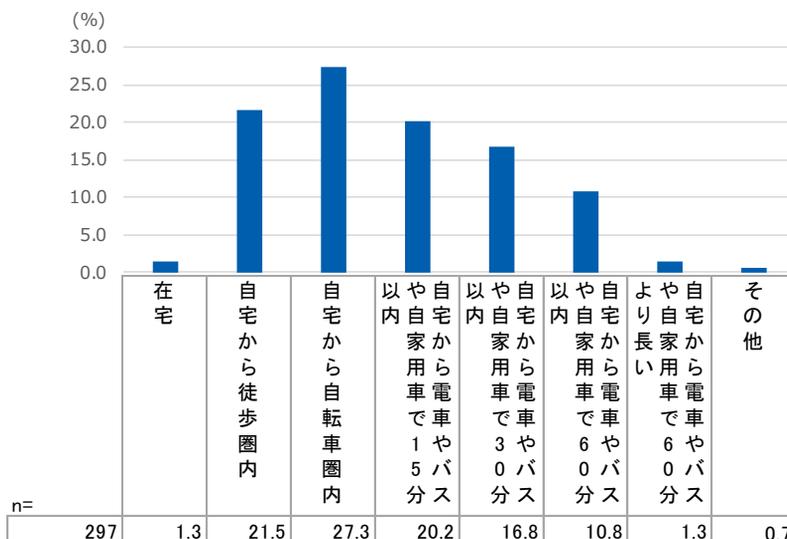
[2013年調査] Q. あなたの現在の就業状況をお答えください。（対象：既婚、子供あり）



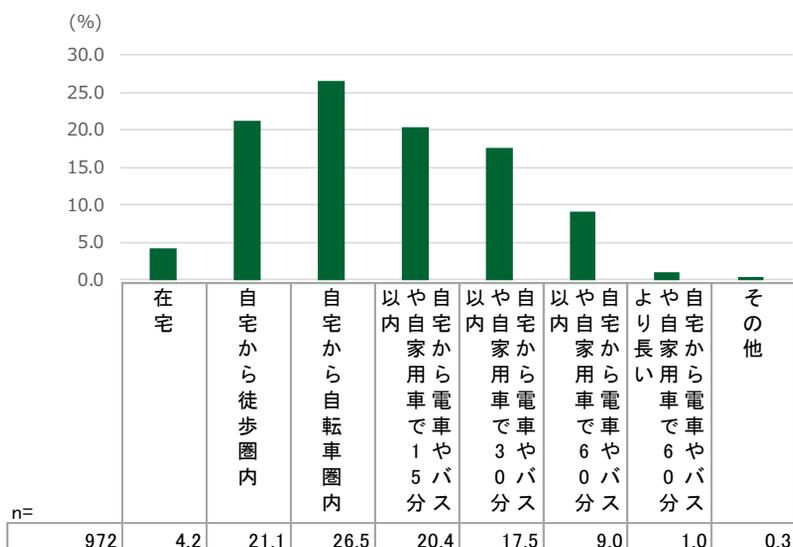
## 2-1. 通勤時間

- Part2では、パート・アルバイト就業者の就業実態を2013年調査と比較しながら見ていく。集計対象は、既婚、子供あり、23～52歳（2013年調査では20～49歳）のパート・アルバイト就業者である。
- まず通勤時間を見ると、「自宅から自転車圏内」が最も多く、「自宅から徒歩圏内」「自宅から電車やバスや自家用車で15分以内」と続く。2013年調査と大きな変化はない。

[2016年調査] Q.あなたの職場までの通勤時間について最もあてはまるものをお選びください。（単一回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者）



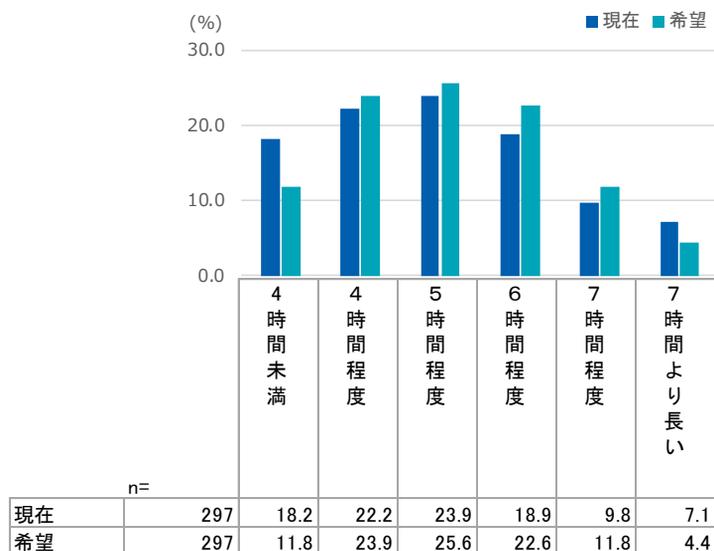
[2013年調査] Q.あなたの職場までの通勤時間をお答えください。（単一回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、パート・アルバイト就業者）



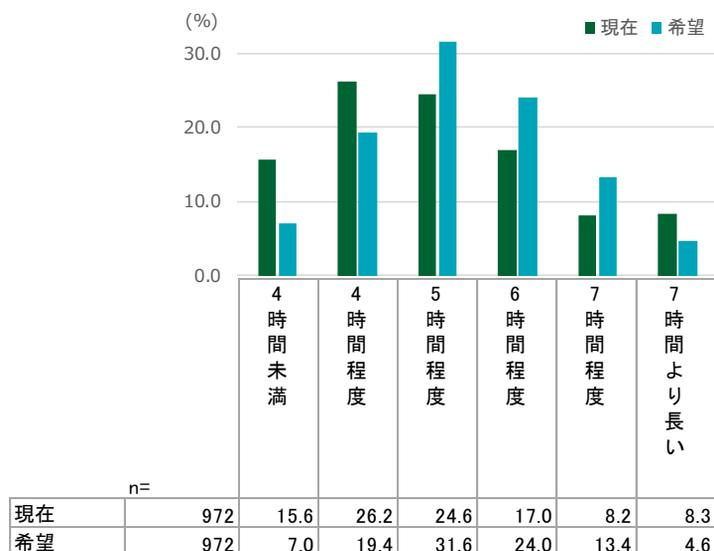
## 2-2. 1日の就業時間（現在と希望）

- 現在の1日の就業時間を見ると、2013年調査に比べて「4時間未満」がやや増加し、「4時間程度」はやや減少している。
- 希望する1日の就業時間は、「4時間未満」「4時間程度」の希望が増加し、現実と希望のギャップが小さくなっている。

[2016年調査] Q.あなたの職場での1日の就業時間について最もあてはまるものをお選びください。また、あなたが希望する1日の就業時間について最もあてはまるものをお選びください。（単一回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者）



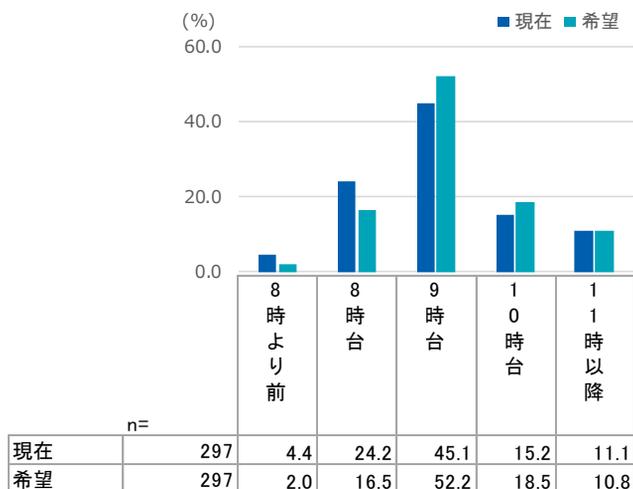
[2013年調査] Q.あなたの職場での1日の就業時間をお答えください。／1日の就業時間の希望についてお答えください。—理想的な1日の就業時間（単一回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、パート・アルバイト就業者）



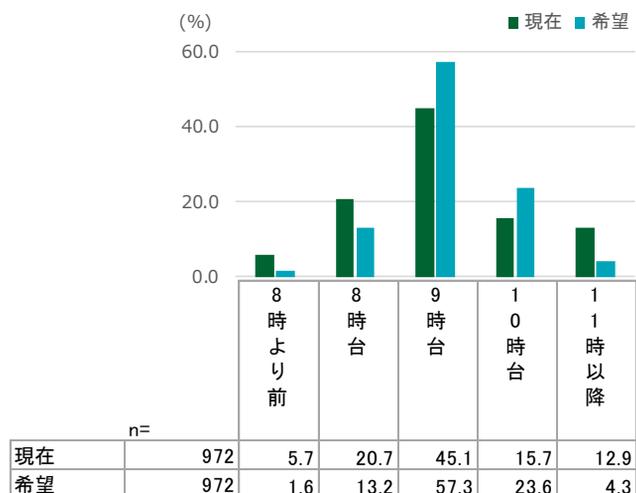
## 2-3. 始業時間（現在と希望）

- 現在の始業時間は、「9時台」が45.1%で最も多く、「8時台」が次いで24.2%だった。「8時台」がやや増加しているものの、2013年調査と大きな変化はない。
- 希望する始業時間は「9時台」が52.2%、「10時台」が18.5%。2013年調査に比べて「9時台」「10時台」が減少し、他へ分散する形となっている。

[2016年調査] Q.あなたの職場の始業時間について最もあてはまるものをお選びください。また、あなたが希望する始業時間について最もあてはまるものをお選びください。（単一回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者）



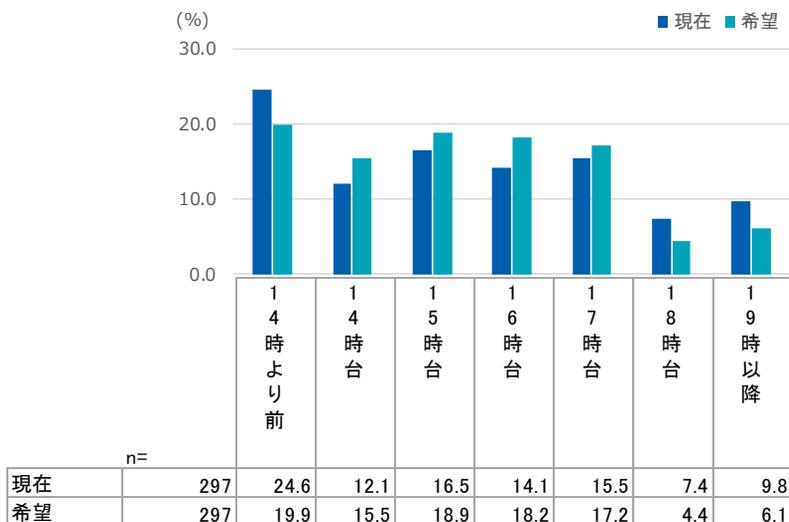
[2013年調査] Q.あなたの職場の始業時間をお答えください。／始業時間の希望についてお答えください。—理想的な始業時間（単一回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、パート・アルバイト就業者）



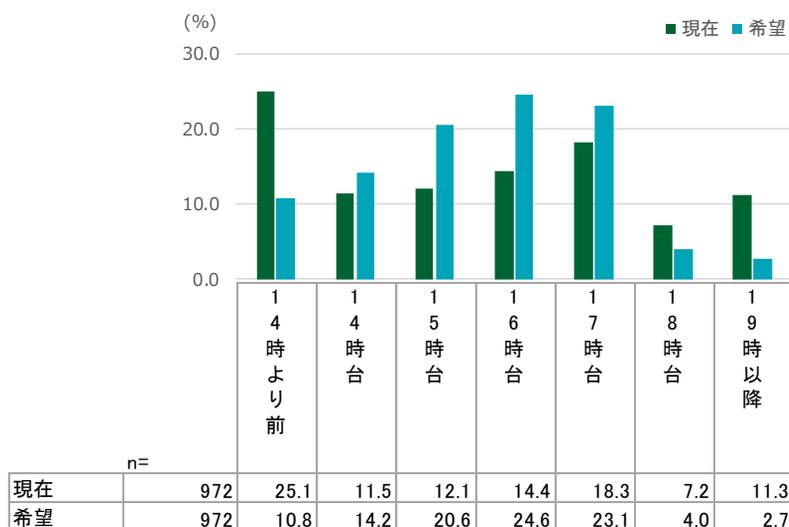
## 2-4. 終業時間（現在と希望）

- 現在の終業時間は、「14時より前」が最も多く、「15時台」がそれに続く。2013年調査と比べると、「15時台」が増加し、「17時台」「19時以降」がやや減少している。
- 希望する終業時間も、「14時より前」が最も多く、「15時台」がそれに続く。2013年調査と比べると「14時より前」が増加し、現実と希望のギャップが小さくなっている。

[2016年調査] Q.あなたの職場の終業時間について最もあてはまるものをお選びください。また、あなたが希望する終業時間について最もあてはまるものをお選びください。（単一回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者）



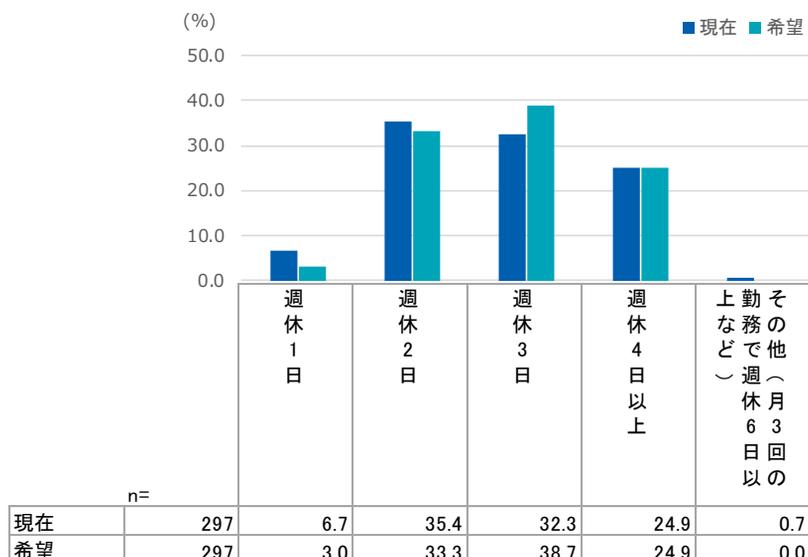
[2013年調査] Q.あなたの職場の終業時間をお答えください。／終業時間の希望についてお答えください。ー理想的な終業時間（単一回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、パート・アルバイト就業者）



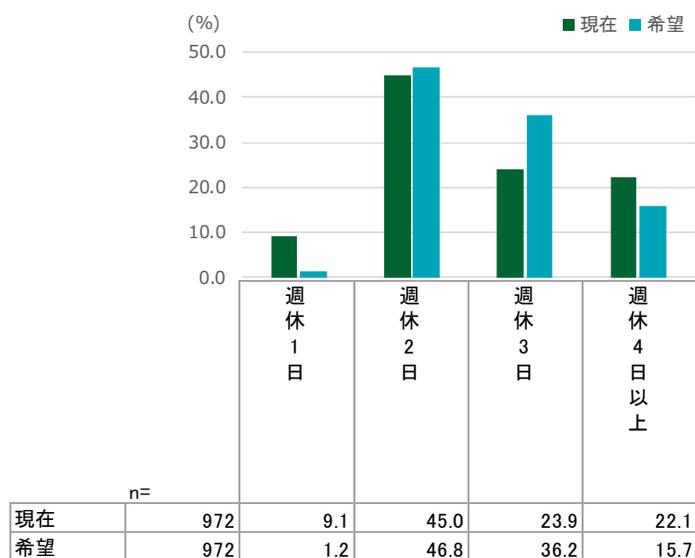
## 2-5. 週休日数（現在と希望）

- 現在の週休日数は、「週休2日」が35.4%、「週休3日」が32.3%。2013年調査に比べて、「週休3日」以上が増加している。
- 希望する週休日数は「週休3日」が38.7%、「週休2日」が33.3%。2013年調査に比べて、「週休2日」が減少し、「週休4日以上」が増加している。

[2016年調査] Q.あなたの職場での、週休日数についてお知らせください。また、あなたが希望する週休日数についてお知らせください。  
 (単一回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者)



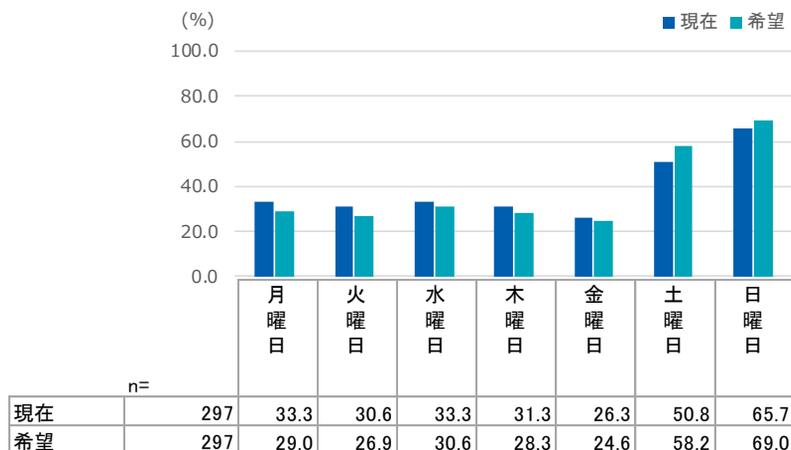
[2013年調査] Q.あなたの職場での、週休日数をお答えください。／休みたい週休日数の希望についてお答えください。—理想的な週休日数（単一回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、パート・アルバイト就業者）



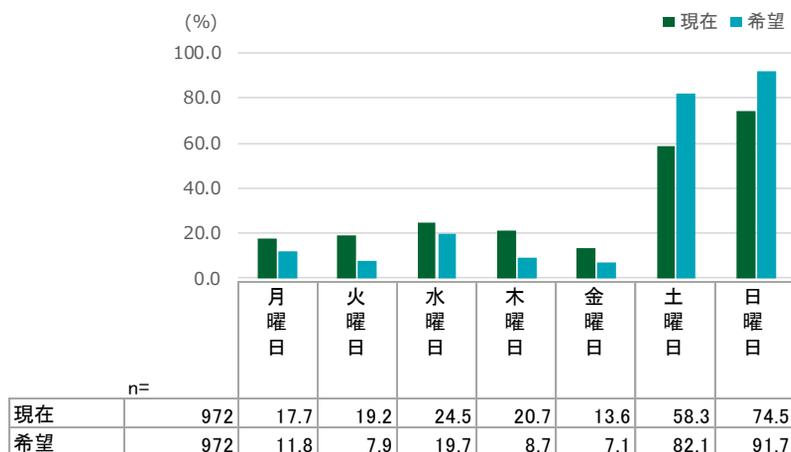
## 2-6. 休日の曜日（現在と希望）

- 現在の休日の曜日は、「日曜日」65.7%、「土曜日」50.8%、平日はそれぞれ30%前後となった。2013年調査では平日がそれぞれ20%前後であり、平日が休日の人が増加している。前頁で見たように、週休3日以上が増加していることが原因と考えられる。
- 希望する休日の曜日は、「日曜日」69.0%、「土曜日」58.2%、平日はそれぞれ30%前後。2013年調査と比べて、現実と希望のギャップが小さくなっている。

[2016年調査] Q.あなたの職場での、休日の曜日について教えてください。また、あなたが希望する休日の曜日について教えてください。  
 (複数回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者)



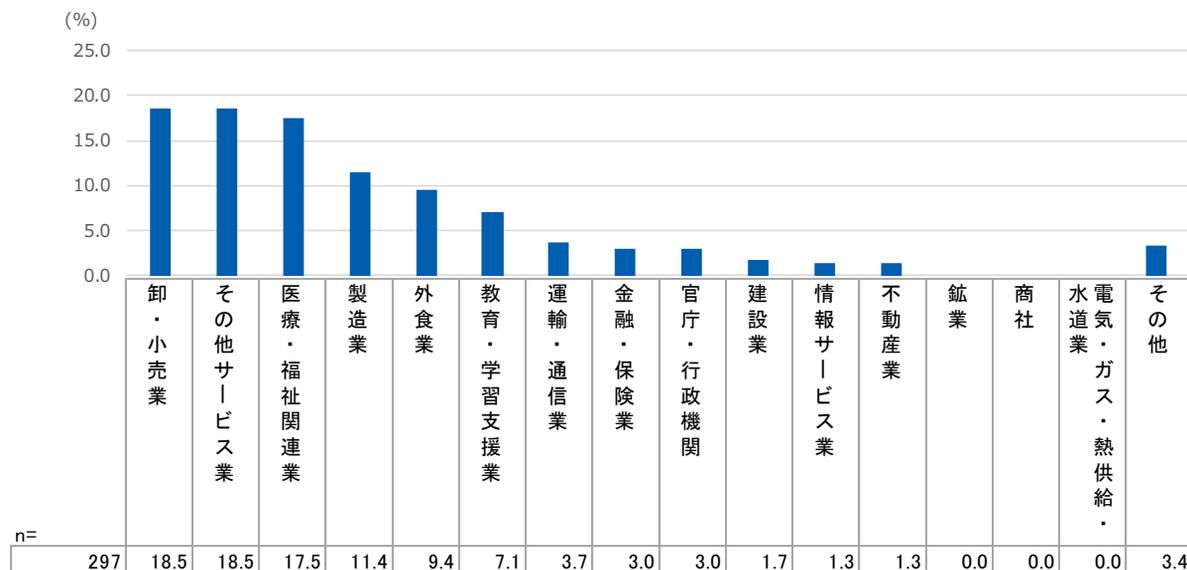
[2013年調査] Q.あなたの職場で、休日の曜日をお答えください。／休日の曜日の希望についてお答えください—理想的な休日の曜日  
 (複数回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、パート・アルバイト就業者)



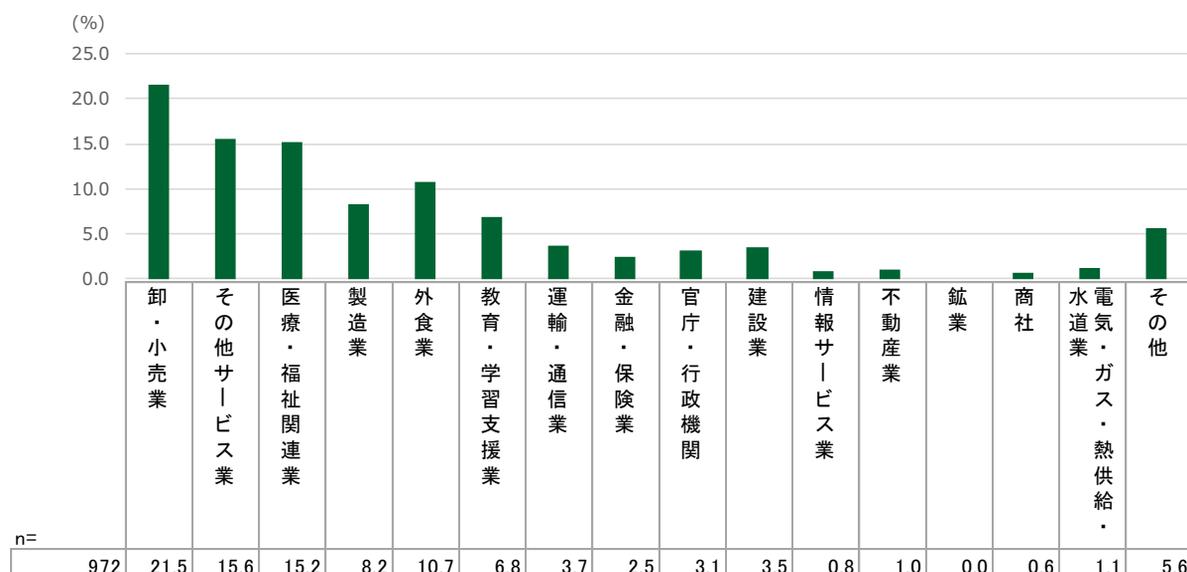
## 2-7. 業種

- 現在の勤め先の業種は、下のグラフの通り。「卸・小売業」「その他サービス業」「医療・福祉関連業」などが多くなっている。2013年調査に比べると、「卸・小売業」がやや少なく、「その他サービス業」「医療・福祉関連業」「製造業」はやや多い。

[2016年調査] Q.現在働いている会社（店）の業種をお答えください。（単一回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者）



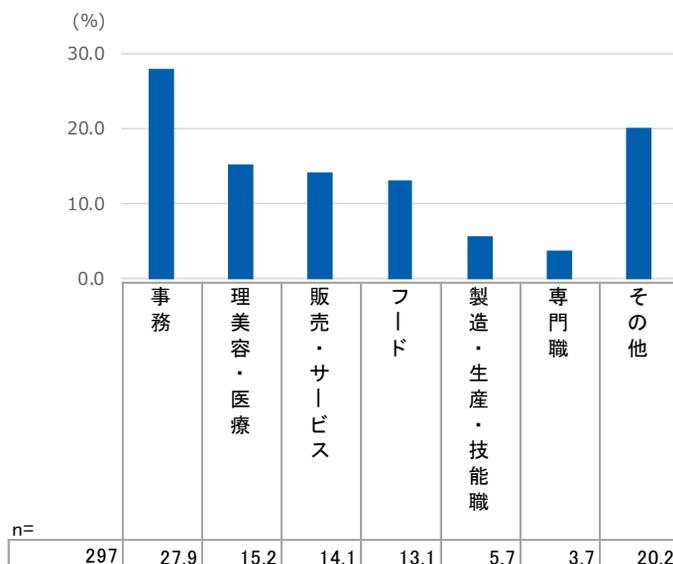
[2013年調査] Q.現在働いている会社（店）の業界をお答えください。（単一回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、パート・アルバイト就業者）



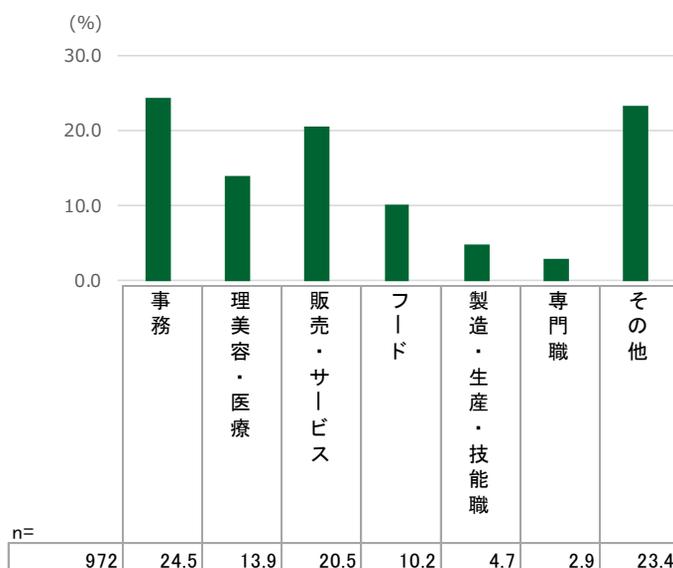
## 2-8. 職種（大分類）

- 現在の職種は、下のグラフの通り（大分類で集計）。「事務」が27.9%で最も多く、「理美容・医療」「販売・サービス」「フード」などが続く。2013年調査と比べると、「販売・サービス」は少なく、「事務」「理美容・医療」「フード」はやや多くなっている。

[2016年調査] Q.現在の職種をお答えください。（単一回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者）



[2013年調査] Q.現在の職種をお答えください。（単一回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、パート・アルバイト就業者）



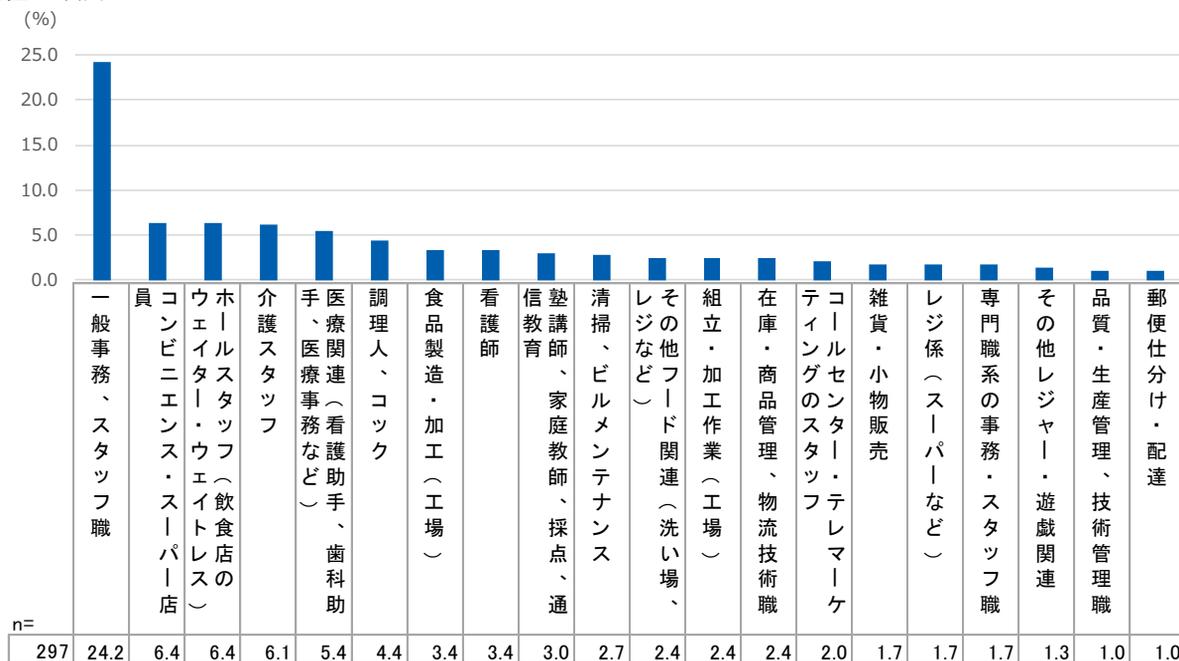
## 2-9. 職種（小分類）

- 現在の職種は、下のグラフの通り（小分類、上位20項目）。「一般事務、スタッフ職」が24.2%で最も多く、他は10%未満で、「コンビニエンス・スーパー店員」「ホールスタッフ（飲食店のウェイトレス）」「介護スタッフ」「医療関連（看護助手、歯科助手、医療事務など）」などとなっている。2013年と比較すると、上位に挙がった項目に大きな違いはない。

※上下のグラフで項目名および並び順が違うため注意。

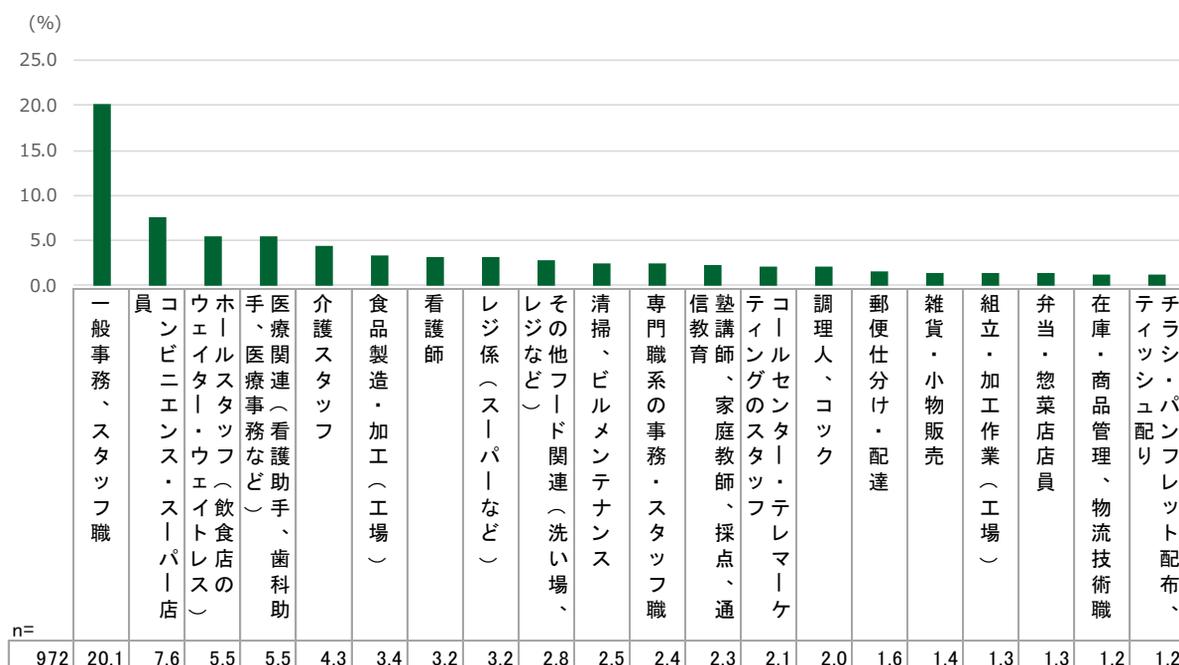
[2016年調査] Q.現在の職種をお答えください。（単一回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者）

※上位20項目



[2013年調査] Q.現在の職種をお答えください。（単一回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、パート・アルバイト就業者）

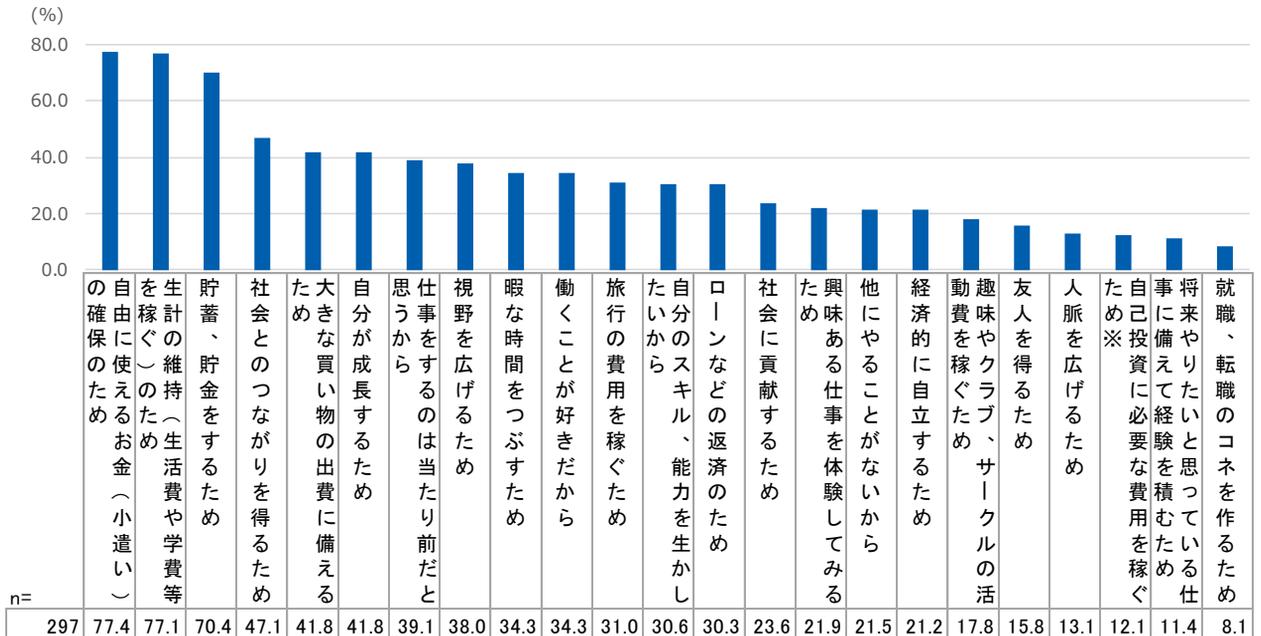
※上位20項目



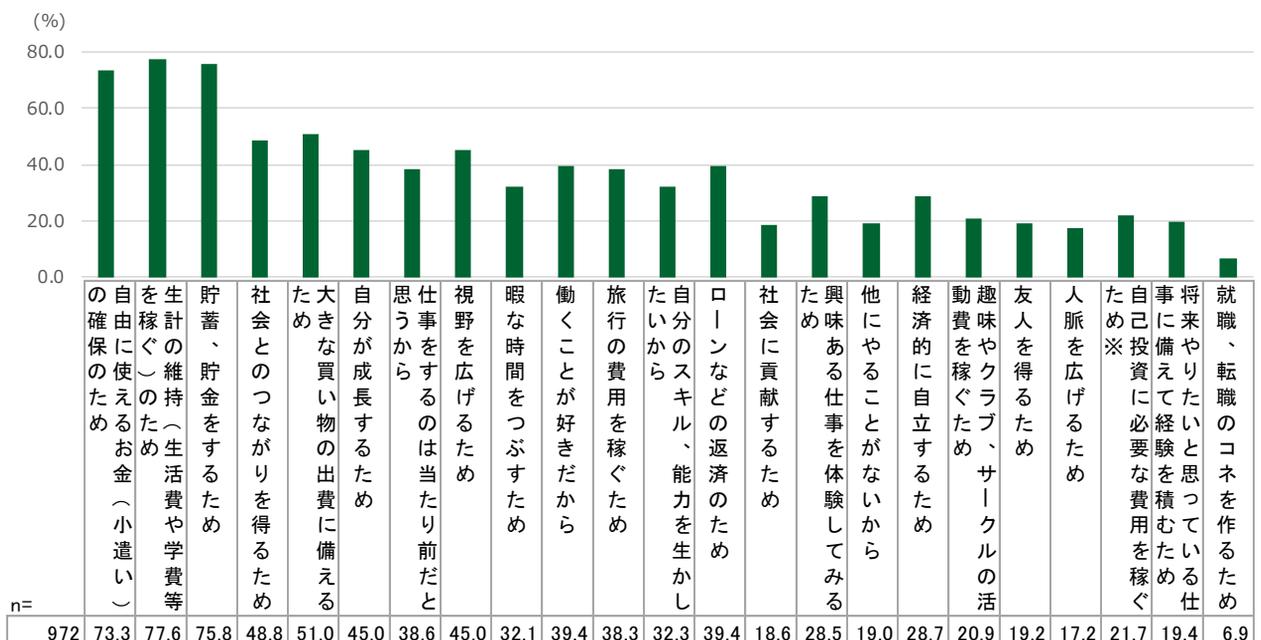
### 3-1. 仕事の目的

- パート・アルバイト就業者（既婚、子供あり、23～52歳）に仕事の目的を聞くと、「自由に使えるお金（小遣い）の確保のため」「生計の維持（生活費や学費等を稼ぐ）のため」「貯蓄、貯金をするため」、経済面以外では、「社会とのつながりを得るため」「自分が成長するため」などが上位に挙がった。2013年と比べると、「大きな買い物に出費に備えるため」や「ローンなどの返済のため」「自己投資に必要な費用を稼ぐため」などが減少している。

[2016年調査] Q.あなたにとって仕事をする目的は何ですか。現在の仕事に限らず、あなたが考える目的として以下の項目はどの程度あてはまりますか。（「かなりあてはまる」+「ややあてはまる」の割合、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者）



[2013年調査] Q.あなたにとって仕事をする目的は何ですか。現在の仕事に限らず、あなたが考える目的として以下の項目はどの程度あてはまりますか。（「かなりあてはまる」+「ややあてはまる」の割合、対象：既婚、子供あり、20～49歳、パート・アルバイト就業者）

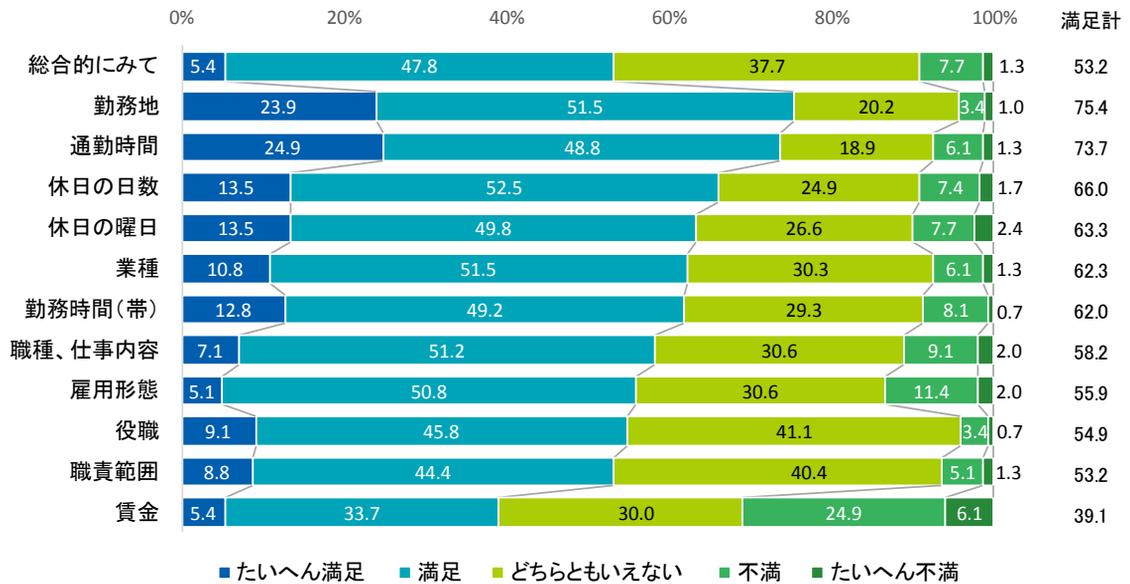


※「勉強や学校の学費、パソコン購入など、自己投資に必要な費用を稼ぐため」

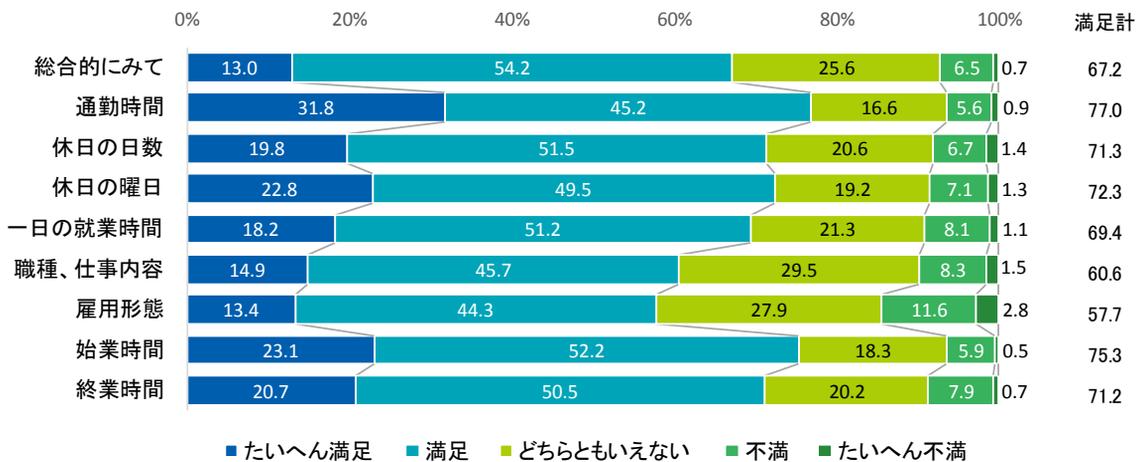
### 3-2. 仕事の満足度

- 現在の仕事にどの程度満足しているかを聞くと、「たいへん満足」または「満足」と答えは人の割合は総合的にみて53.2%、勤務地については75.4%、通勤時間については73.7%などとなった。賃金は「不満」との回答が他に比べて多い。2013年調査と比べると、項目が違うので単純には比較できないが、全体的に「たいへん満足」が減り、「どちらともいえない」が増加している。勤務地や通勤時間についてはどちらでも満足度が高く、仕事を決める際にはこれらの点を優先して決めているためと推測される。

[2016年調査] Q.現在の仕事にどの程度満足していますか。(単一回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者) n=297



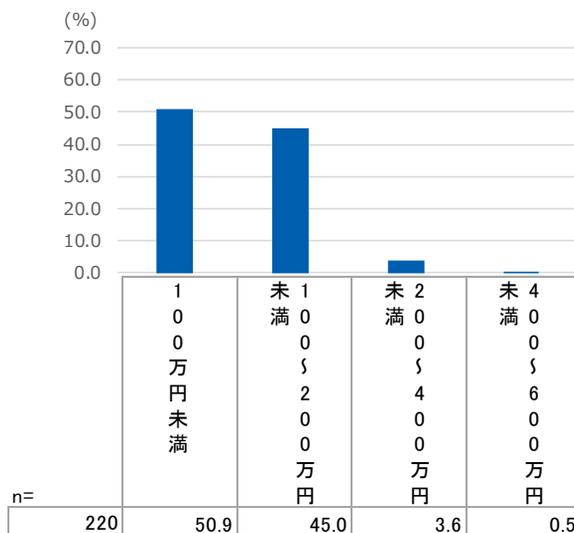
[2013年調査] Q.現在の仕事にどの程度満足していますか。(単一回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、パート・アルバイト就業者) n=972



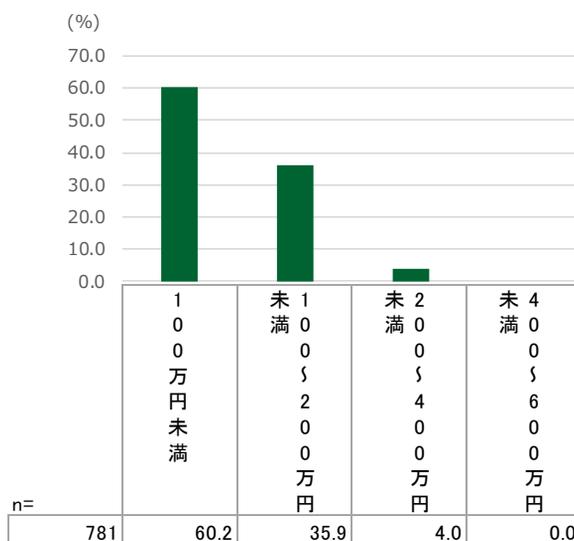
### 3-3. 年収

- 個人年収を聞くと、「100万円未満」が50.9%、「100～200万円未満」45.0%などとなった。2013年調査に比べると、「100～200万円未満」が増加している。

[2016年調査] Q.あなたの個人年収（税込）について教えてください。（数値回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者）



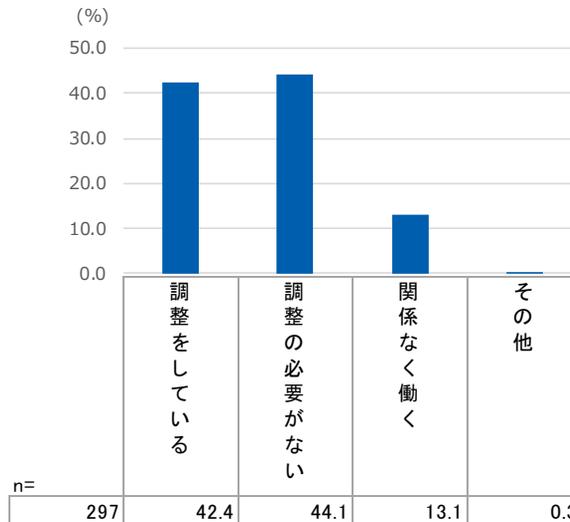
[2013年調査] Q.あなたの年収をお答えください。（数値回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、パート・アルバイト就業者）



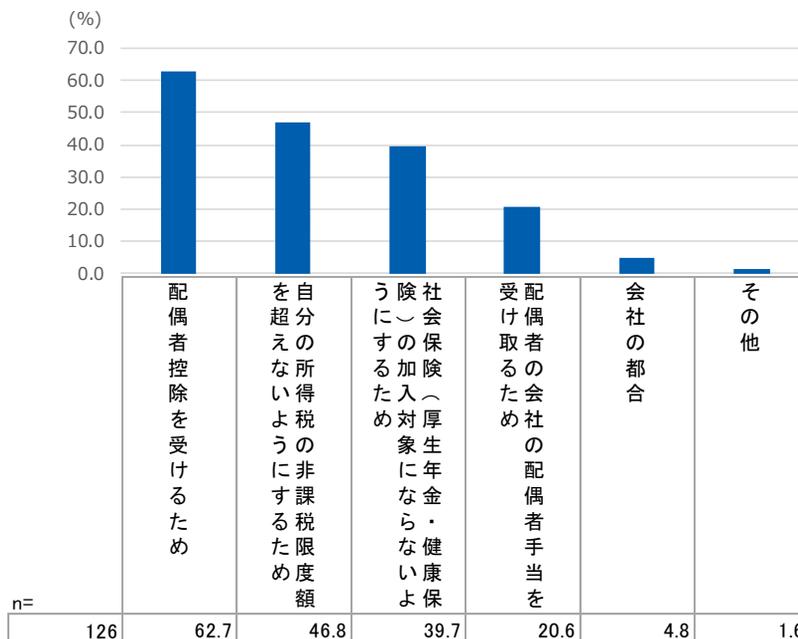
### 3-4. 就業調整の有無／その理由

- 就業調整の有無を聞くと、「調整をしている」との回答は42.4%であり、回答者の約4割が就業調整をしている。
- 就業調整をしている人にその理由を聞くと、「配偶者控除を受けるため」が最も多く62.7%で、「自分の所得税の非課税限度額を超えないようにするため」46.8%、「社会保険（厚生年金・健康保険）の加入対象にならないようにするため」39.7%、「配偶者の会社の配偶者手当を受け取るため」20.6%などとなった。

[2016年調査] Q.あなたは就業調整をしていますか。（単一回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者）



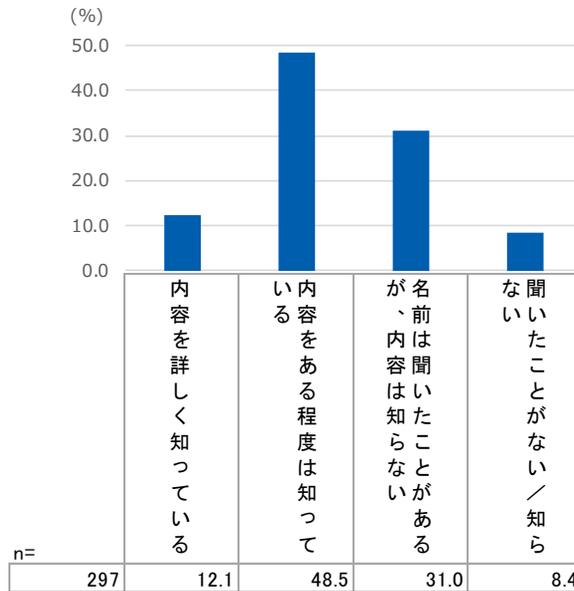
[2016年調査] Q.就業調整をしている理由について教えてください。（複数回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者、就業調整をしている人）



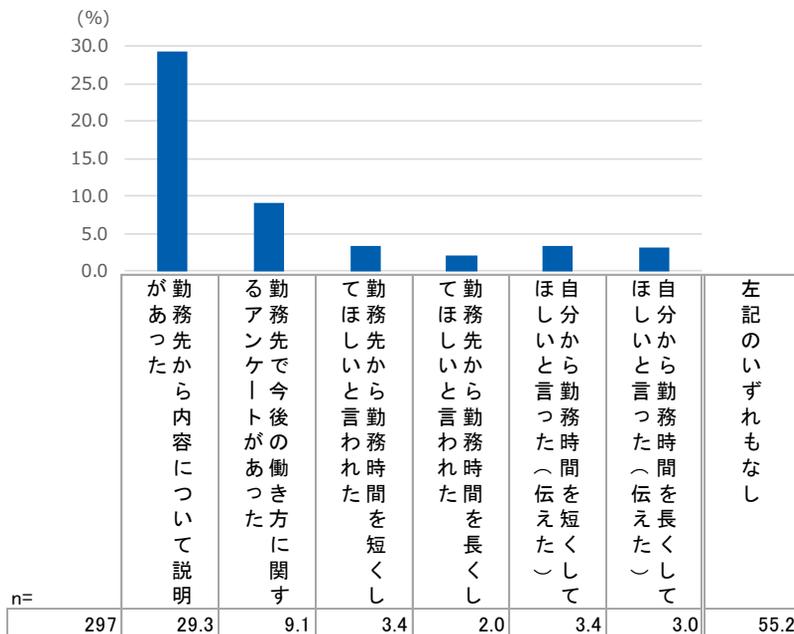
### 3-5. 社会保険適用拡大の認知／対応

- 平成28年（2016年）10月からの社会保険適用拡大について聞くと、「内容をある程度は知っている」が48.5%、「内容を詳しく知っている」は12.1%であった。
- また、適用拡大について「勤務先から内容について説明があった」という人は29.3%だった。しかし、選択肢のいずれの出来事もなかった人も半数以上にのぼる。

[2016年調査] Q.平成28年10月より、社会保険（厚生年金・健康保険）の加入対象が広がりました。あなたはこのことについて、どの程度知っていますか。（単一回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者）



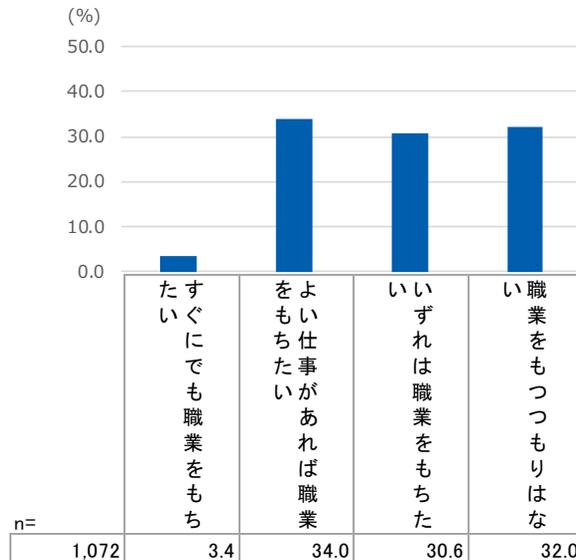
[2016年調査] Q.平成28年10月の社会保険（厚生年金・健康保険）の適用拡大を受け、あった出来事について、あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、パート・アルバイト就業者）



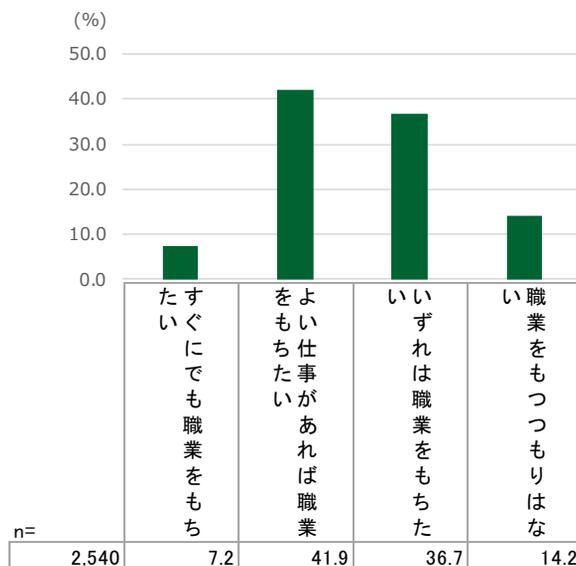
## 4-1. 今後の就業意向

- 2016年事前調査（対象者絞り込みなし）において、今後の就業意向を聞くと、「すぐにでも職業をもちたい」は3.4%、「よい仕事があれば職業をもちたい」34.0%、「いずれは職業をもちたい」30.6%、「職業をもつつもりはない」32.0%となった。2013年調査に比べて、「よい仕事があれば職業をもちたい」や「いずれは職業をもちたい」が減少し、「職業をもつつもりはない」が増加している。約3年の間に、入職するきっかけがあった人は入職し、入職しなかった人はブランクが長くなったことなどで、就業意欲が低くなったのではないかと推測される。

[2016年事前調査] Q.あなたは今後職業をもちたいと思いますか。お気持ちに近いものをひとつお選びください。（単一回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、非就業者）



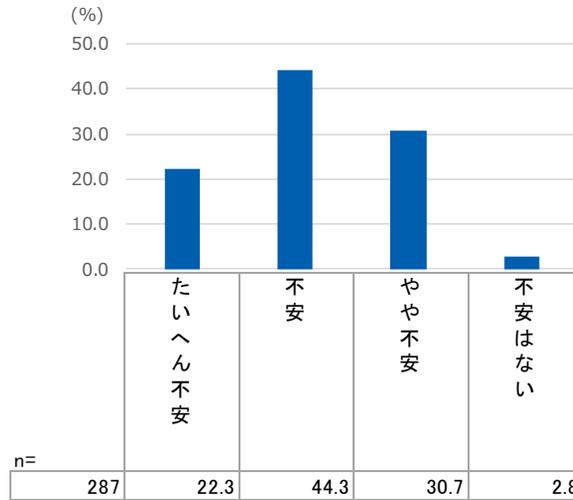
[2013年調査] Q.あなたは今後職業をもちたいと思いますか。お気持ちに近いものをひとつお選びください。（単一回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、非就業者）



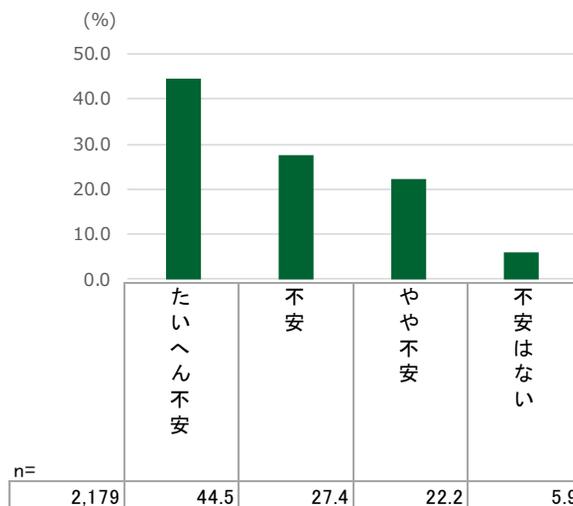
## 4-2. 就職への不安度

- 就業意向のある人に、就職に向けて不安に思うかを聞いたところ、「たいへん不安」22.3%、「不安」44.3%、「やや不安」30.7%、「不安はない」は2.8%だった。2013年調査と比べると、「たいへん不安」は約半分に減少している。働き方などについての情報が増加し、不安が軽減されている可能性がある。

[2016年調査] Q.就職に向けて不安に思いますか。(単一回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、2015年も現在も非就業、就業意向あり)



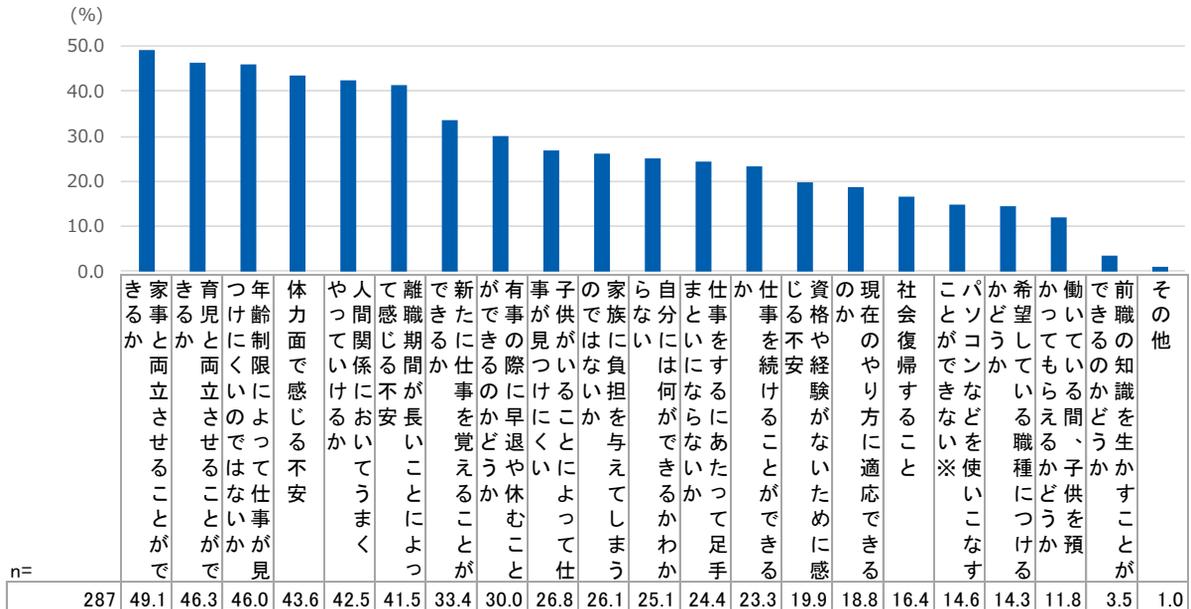
[2013年調査] Q.就職に向けて不安に思いますか。(単一回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、非就業者、就業意向あり)



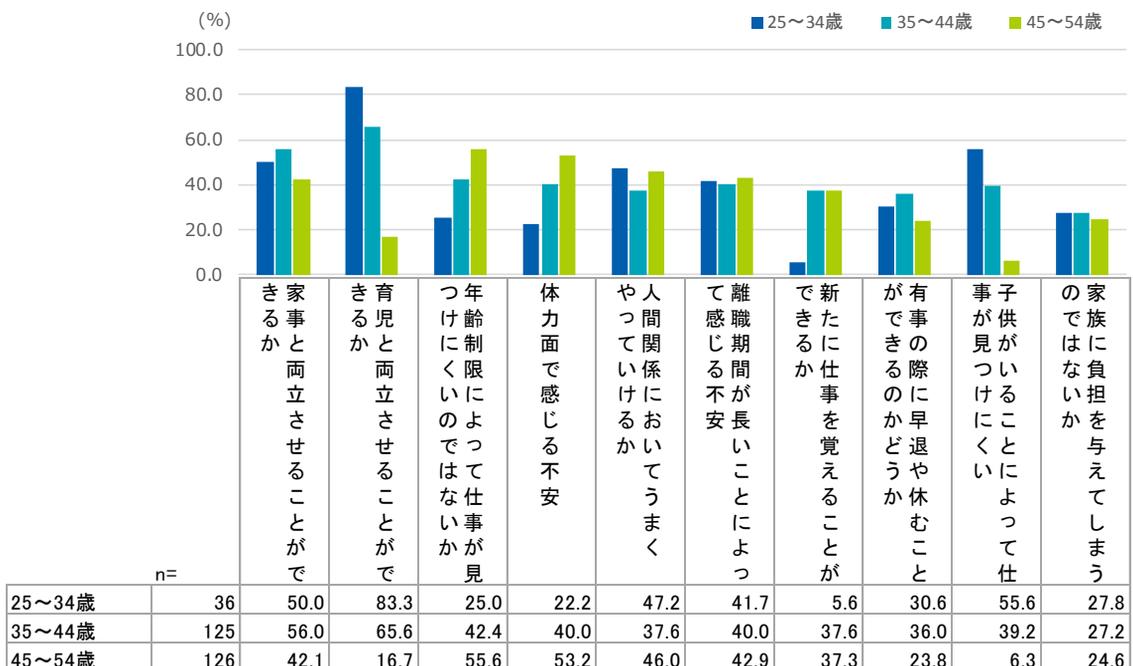
### 4-3. 就職で不安なこと（全体／年齢別）

- 就職についてどのようなことを不安に思っているか聞くと、「家事と両立させることができるか」「育児と両立させることができるか」「年齢制限によって仕事が見つげにくいのではないか」などが上位に挙がった。
- また、上位10項目について年齢別に見ると、「育児と両立させることができるか」「子供がいることによって仕事が見つげにくい」は年齢が低い層で多く、「年齢制限によって仕事が見つげにくいのではないか」「体力面で感じる不安」は年齢が高い層で多い傾向がある。

[2016年調査] Q.就職にあたりどのようなことが不安に思われますか。（複数回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、2015年も現在も非就業、就業意向あり）



[2016年調査] Q.就職にあたりどのようなことが不安に思われますか。（複数回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、2015年も現在も非就業、就業意向あり） ※上位10項目

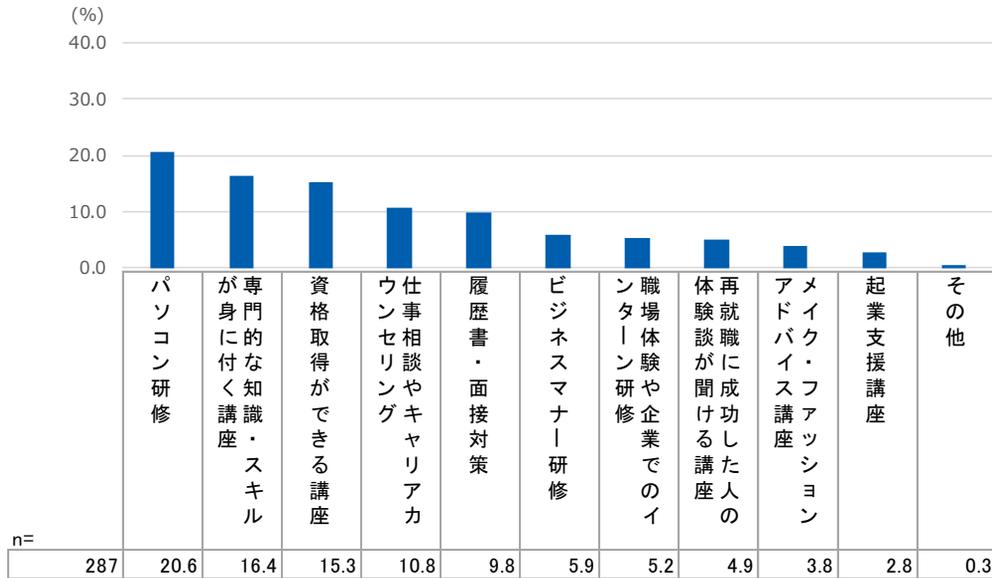


※「パソコンなど新しい機器をうまく使いこなすことができない」

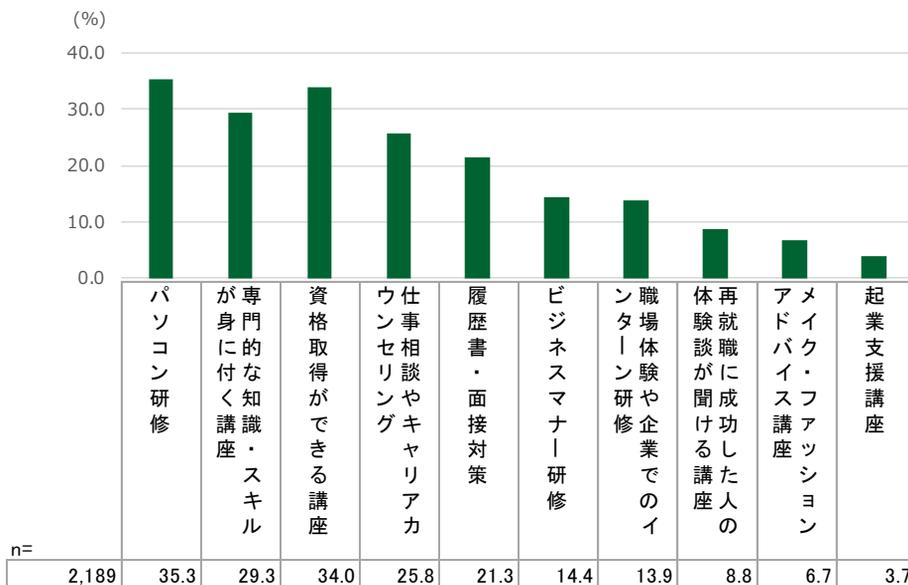
### 4-4. 就職に向けて受講したいもの

- 就職に向けた準備として受講したい研修や講座を聞くと、「パソコン研修」が最も多く20.6%、次いで「専門的な知識・スキルが身に付く講座」「資格取得ができる講座」などとなった。2013年調査と比べても順位は大きく変わらず、まず知識・スキル対策、次いで採用対策、そしてその他の参考情報を得られる講座が求められていると考えられる。

[2016年調査] Q.就職に向けて取り組んだもの、または今後就職に向けた準備として受講したい研修や講座はどんなものがよいですか。  
(複数回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、2015年も現在も非就業、就業意向あり)



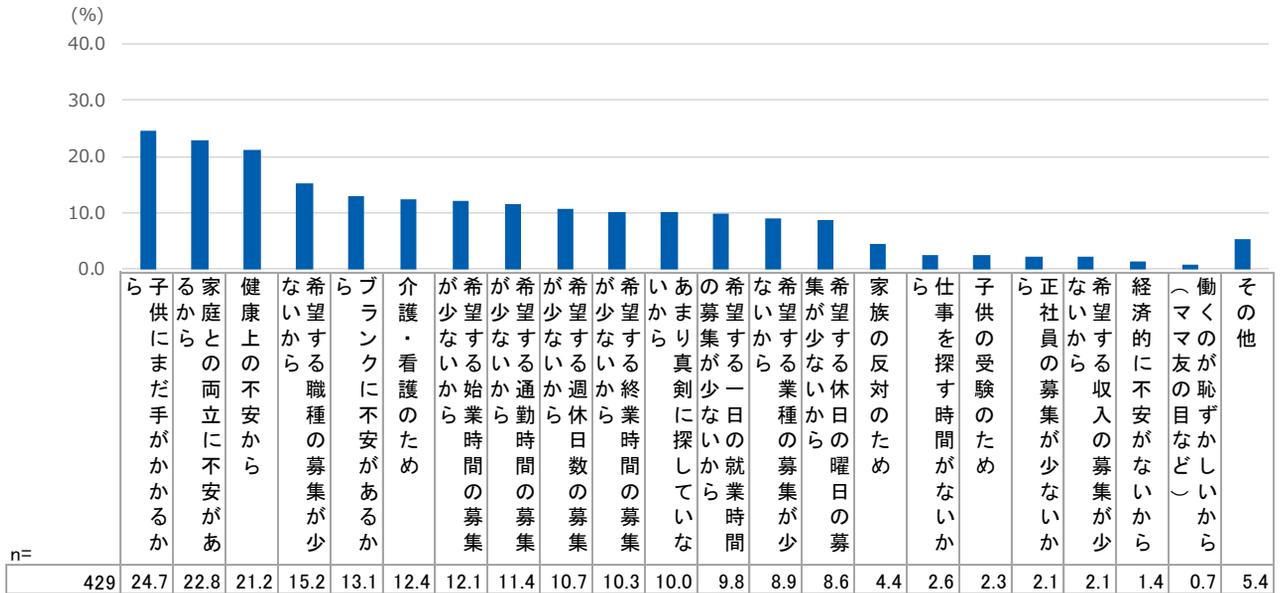
[2013年調査] Q.今後、職業をもつことを検討する際に、準備として受けた研修や講座はどんなものがよいですか。(複数回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、非就業者、就業意向あり)



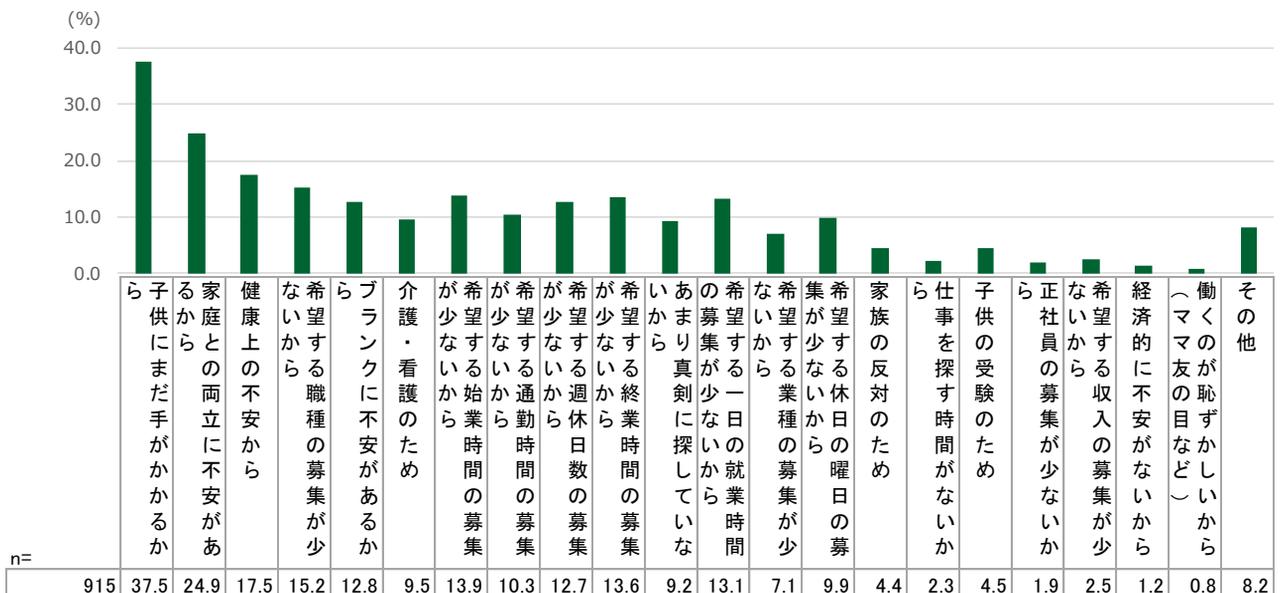
4-5. (参考) 働けなかった理由

- 働きたかったが働けなかったという人にその理由を聞くと、「子供にまだ手がかかるから」「家庭との両立に不安があるから」「健康上の不安から」などが上位に挙がった。2015年調査と比較すると、「子供にまだ手がかかるから」の数値が大きく減少し、「健康上の不安から」がやや増加している。

[2016年調査] Q.働く意思があるのに働けなかったのはなぜですか。(複数回答、対象：既婚、子供あり、23～52歳、2015年も現在も非就業、働きたかったが働けなかった人)



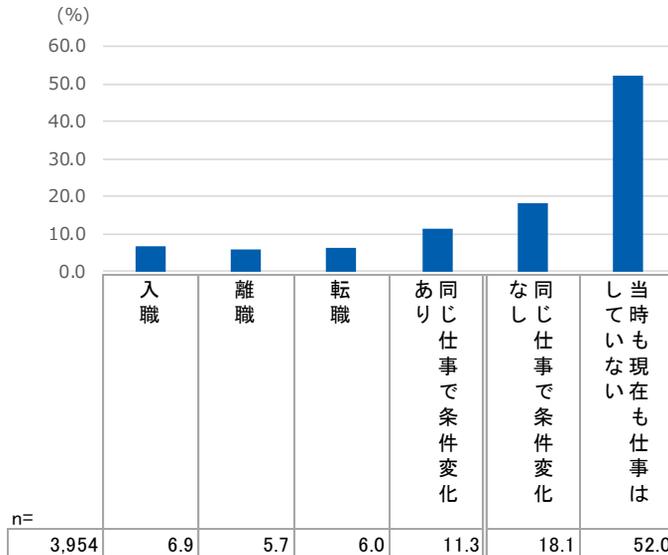
[2015年調査] Q.働く意思があるのに働けなかったのはなぜですか。(複数回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、非就業者)



### 5-1. 就業状況の変化（全体／年齢分布）

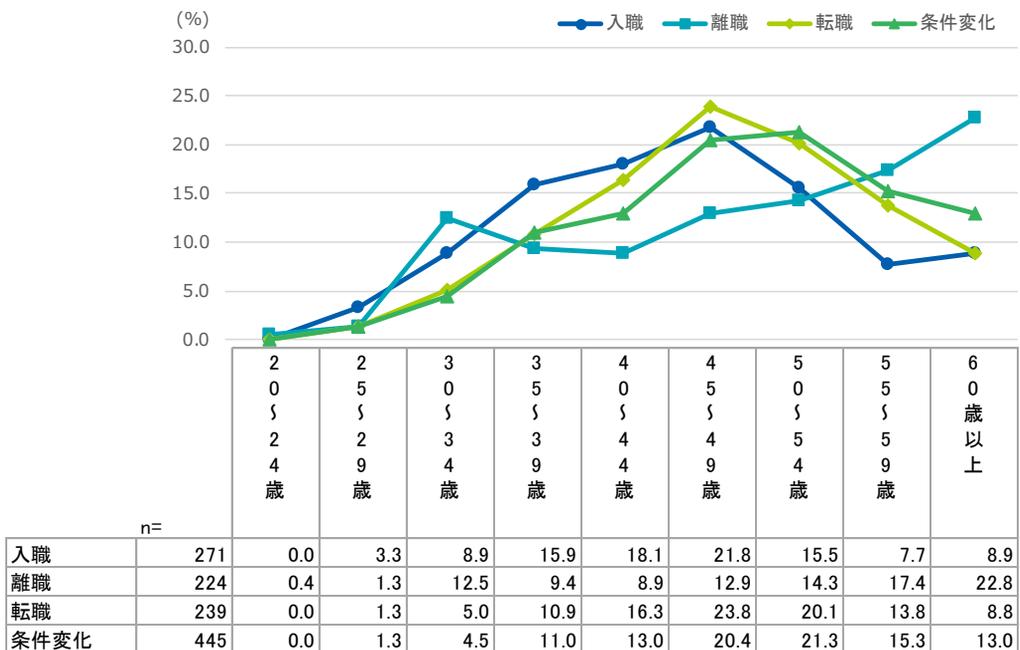
- Part5では、2015年調査または2016年調査で、前回調査から就業状況に変化があったと回答した人について見ていく。
- 2015年調査または2016年調査で「入職した」と回答した人は6.9%、「離職した」5.7%、「転職した」6.0%、「同じ仕事で条件変化あり」11.3%となった。就業状況に変化があった人の年齢分布を見ると、入職した人は40代後半までが比較的多く、離職した人は30代前半と50代後半以上に多い。転職した人は40代後半が最も多く、条件変化した人は50代前半が最も多い。

[2015年調査+2016年調査] Q.あなたは、2013年12月／2015年3月当時の就業状況と比べて、以下のような変化がありましたか。  
 (単一回答、対象：既婚、子供あり)



※「入職」「離職」「転職」「同じ仕事で条件変化あり」は2015年調査または2016年調査でそのように回答した人数の割合、「同じ仕事で条件変化なし」「当ても現在も仕事はしていない」は2015年調査でも2016年調査でもそのように回答した人数の割合。

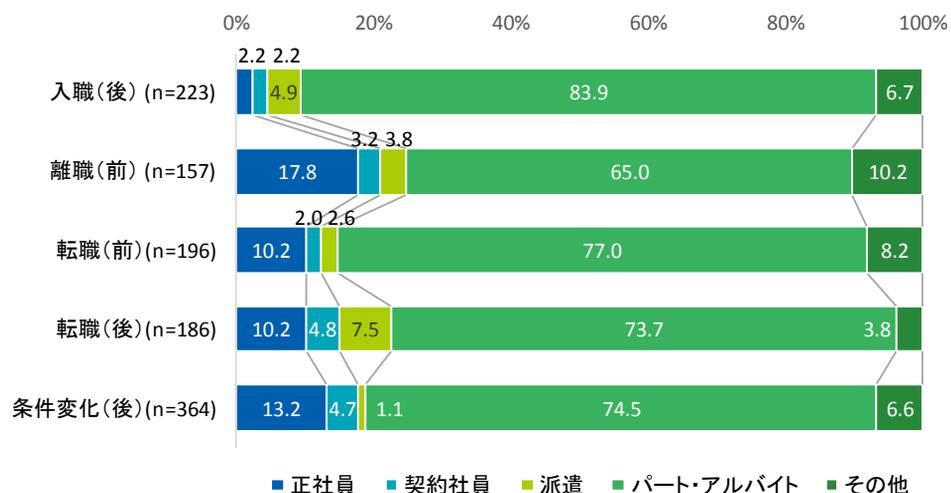
[2015年調査+2016年調査] Q.あなたは、2013年12月／2015年3月当時の就業状況と比べて、以下のような変化がありましたか。  
 (単一回答、対象：既婚、子供あり)



## 5-2. 変化した人の雇用形態

- 就業状況に変化があった人の雇用形態の分布は、下のグラフのようになっている。入職した人は8割以上がパート・アルバイトの仕事に就いている。離職した人は正社員であった割合が2割弱と、他の変化よりも高い。転職前後の雇用形態を見ると、転職後は契約社員と派遣がやや増加している。

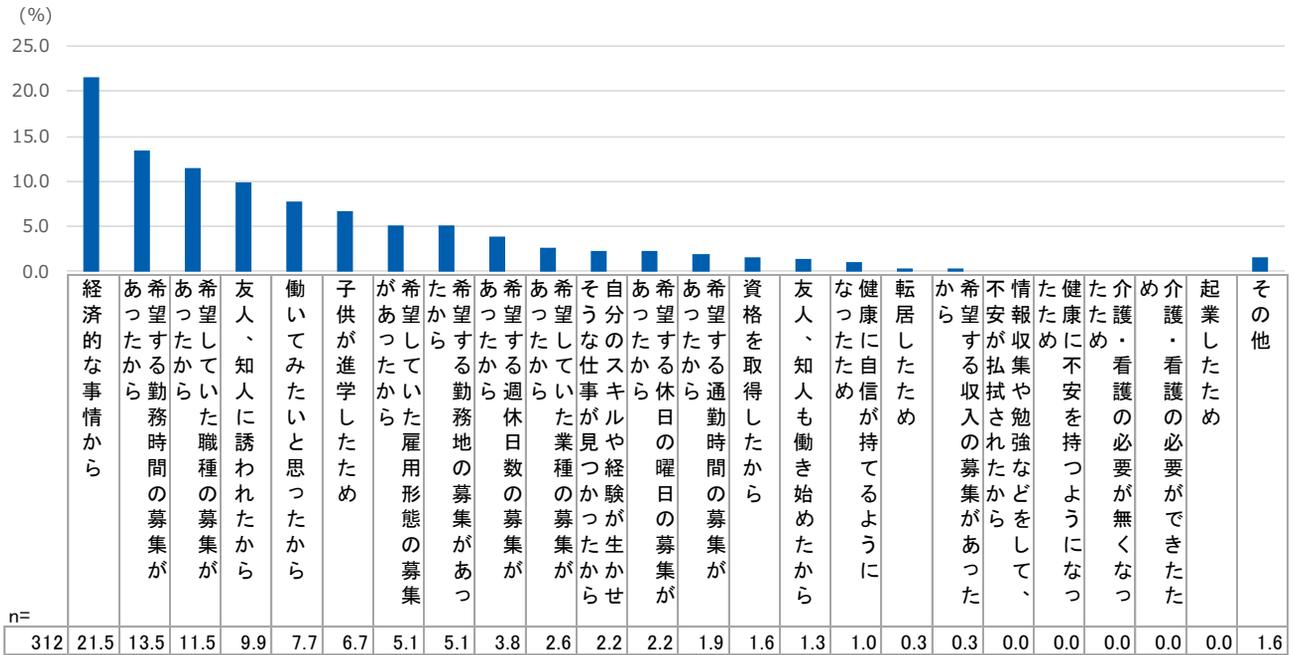
[2015年調査+2016年調査] Q.あなたは、2013年12月/2015年3月当時の就業状況と比べて、以下のような変化がありましたか。  
(単一回答、対象：既婚、子供あり)



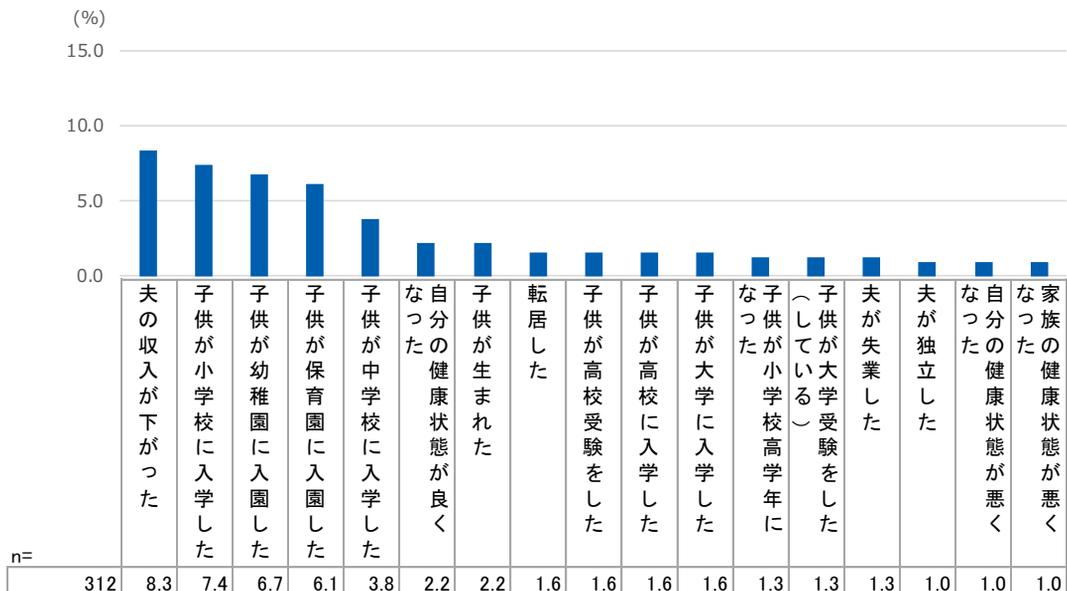
### 5-3. 入職の理由・きっかけ／影響したこと

- 入職した人にその理由・きっかけを聞くと、「経済的な事情から」が21.5%で最も多く、「希望する勤務時間の募集があったから」「希望していた職種の募集があったから」「友人、知人に誘われたから」などが上位に挙げた。
- また、入職に影響したことを聞くと、「夫の収入が下がった」「子供が小学校に入学した」「子供が幼稚園に入園した」「子供が保育園に入園した」などが上位に挙がっており、子供の成長がきっかけになることは少なくないとわかる。

[2015年調査+2016年調査] Q.入職した理由やきっかけは何ですか。最も決め手になった理由やきっかけを1つだけお選びください。  
(単一回答、対象：既婚、子供あり、入職した人)



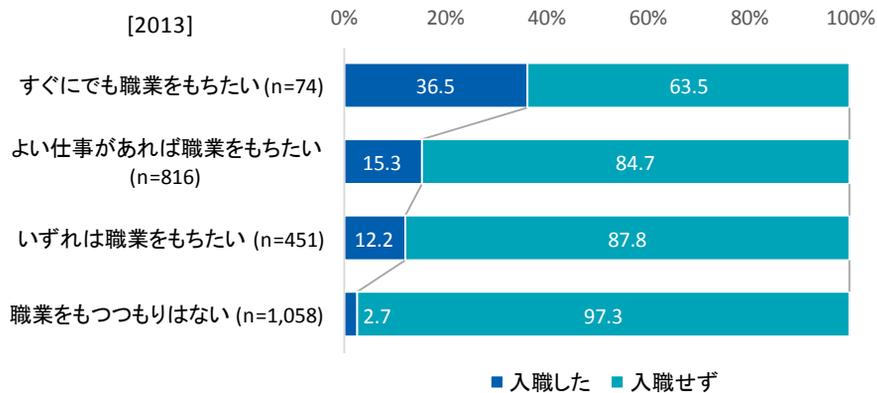
[2015年調査+2016年調査] Q.あなたが経験した就業上の変化は、以下のあなたに起こったことのどれに影響を受けていますか。(複数回答、対象：既婚、子供あり、入職した人) ※上位17項目



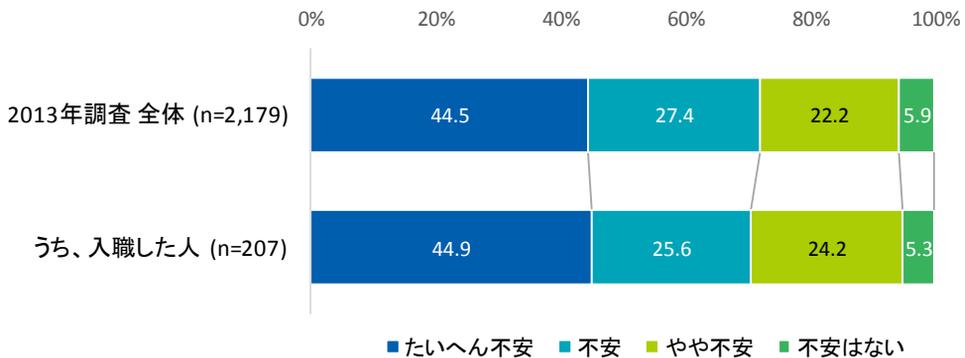
## 5-4. 就業意向と入職した割合／入職者の就職への不安度

- 2013年調査時の就業意向と、その後3年間で入職したかどうかの関係を見てみよう。2013年調査で「すぐにでも職業をもちたい」と回答した人の36.5%は、2015年調査または2016年調査で「入職した」と回答しており、「よい仕事があれば」「いずれは」と回答した人に比べて割合が高い。ただし、「すぐにでも職業をもちたい」と答えながら入職しなかった人も63.5%いる。
- 2015年調査または2016年調査で「入職した」と回答した人の2013年調査時の不安度を見ると、回答者全体とあまり変わらない。入職した人も特別に自信があったわけではなく、不安を乗り越えて入職したのだと考えられる。

[2015年調査+2016年調査] Q.あなたは、2013年12月／2015年3月当時の就業状況と比べて、以下のような変化がありましたか。  
(単一回答、対象：既婚、子供あり、2013年当時非就業者)



[2013年調査] Q.就職に向けて不安に思いますか。(単一回答、対象：既婚、子供あり、20～49歳、非就業者、就業意向あり)



### 5-5. 離職の理由・きっかけ／影響したこと

- 離職した人にその理由・きっかけを聞くと、「妊娠・出産のため」が17.3%で最も多く、「健康上の不安から」「契約満了のため」「介護、看護のため」などが上位に挙がった。
- また、離職に影響したことを聞くと、「子供が生まれた」「自分の健康状態が悪くなった」「妊娠した」「家族の健康状態が悪くなった」「家族の介護・看護をすることになった」「転居した」などが上位に挙がった。

[2015年調査+2016年調査] Q.離職した理由をお答えください。最もあてはまるものを1つだけお選びください。（単一回答、対象：既婚、子供あり、離職した人）



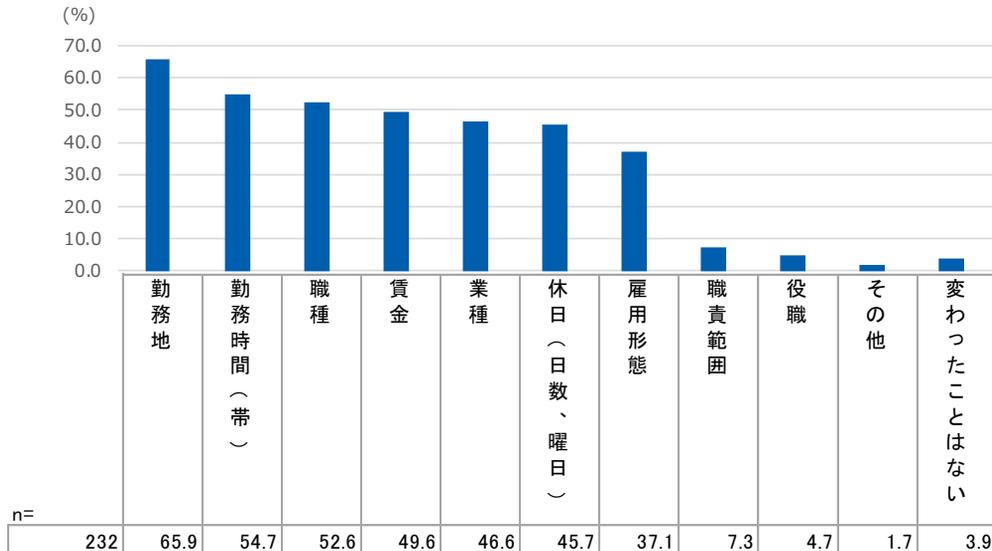
[2015年調査+2016年調査] Q.あなたが経験した就業上の変化は、以下のあなたに起こったことのどれに影響を受けていますか。（複数回答、対象：既婚、子供あり、離職した人） ※上位19項目



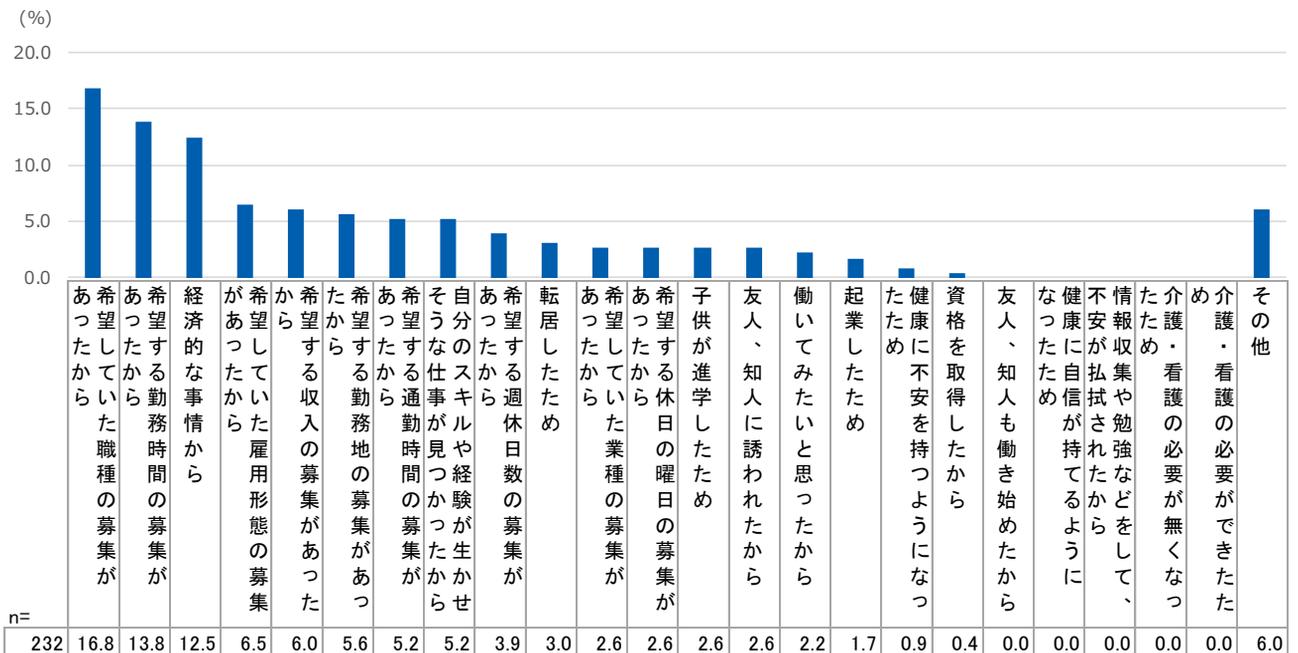
### 5-6. 転職で変化したこと／転職の理由・きっかけ

- 転職した人に、転職前後でどのような点が変わったかを聞いた。「勤務地」「勤務時間（帯）」「職種」については半数以上の人、「賃金」「業種」「休日（日数、曜日）」「雇用形態」については3割以上の人に変化したと回答している。
- 転職した人にその理由・きっかけを聞くと、「希望していた職種の募集があったから」「希望する勤務時間の募集があったから」「経済的な事情から」などが上位に挙げた。

[2015年調査+2016年調査] Q.以下の変化はありましたか。（複数回答、対象：既婚、子供あり、転職した人）



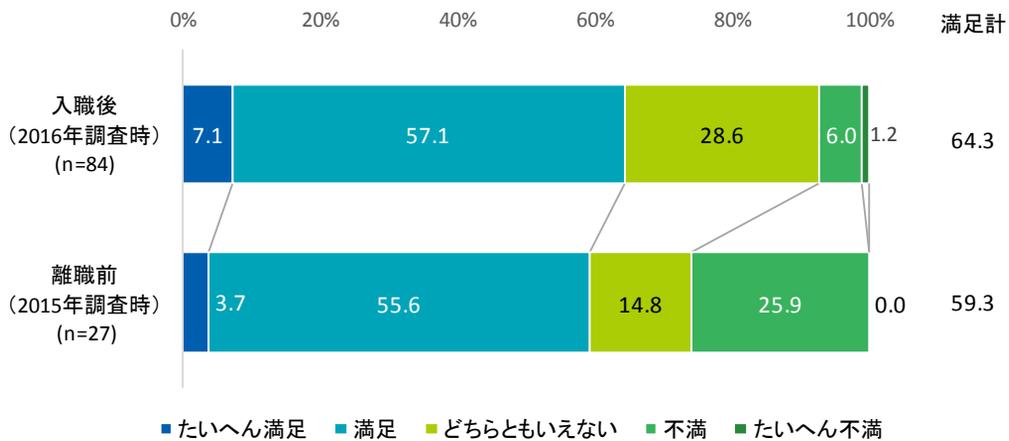
[2015年調査+2016年調査] Q.転職した理由やきっかけは何ですか。最も決め手になった理由やきっかけを1つだけお選びください。（単一回答、対象：既婚、子供あり、転職した人）



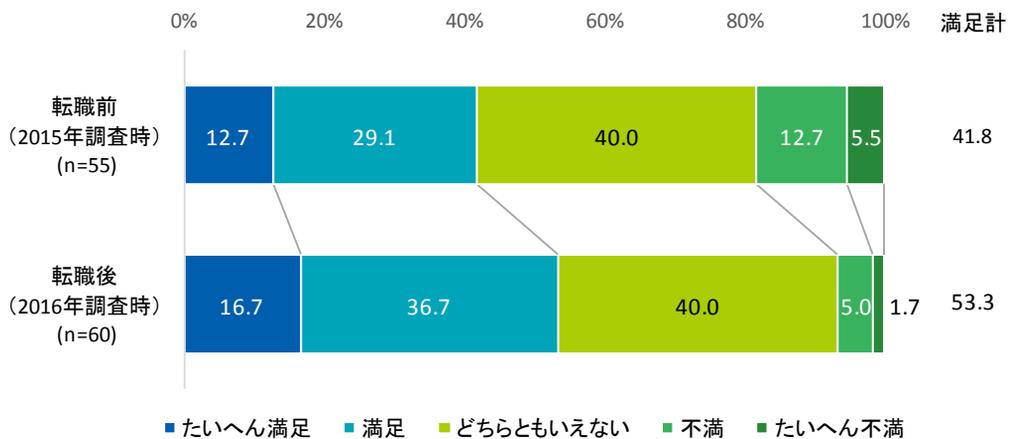
### 5-7. (参考) 就業状況の変化と仕事満足度

- 2016年調査で「入職した」と答えた人の仕事満足度は、「たいへん満足」「満足」を合わせて64.3%となっている。一方で、「離職した」と答えた人の離職前の仕事満足度は「たいへん満足」「満足」を合わせて59.3%と、入職者より低い結果となっている。  
※ただし、離職前についてはn=27と回答者数が少ないため注意が必要。
- 2016年調査において「転職した」と回答した人の仕事満足度は、転職前には「たいへん満足」「満足」を合わせて41.8%だったが、転職後には53.3%と増加している。転職によって、より自分に合った就業条件などを得られているものと推測される。

[2015年調査+2016年調査] Q.現在の仕事にどの程度満足していますか。—総合的にみて（「たいへん満足+満足」の割合、対象：既婚、子供あり、2016年調査で「入職した」または「離職した」と回答した人）



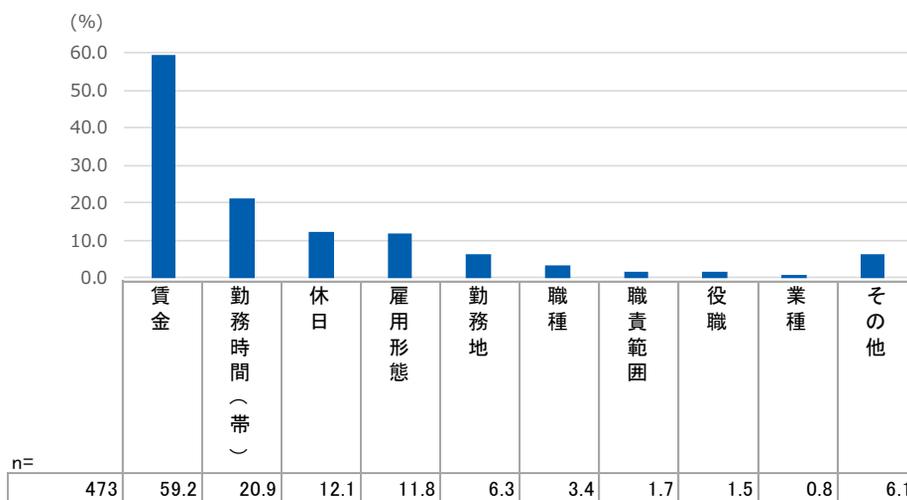
[2015年調査+2016年調査] Q.現在の仕事にどの程度満足していますか。—総合的にみて（「たいへん満足+満足」の割合、対象：既婚、子供あり、2016年調査で「転職した」と回答した人）



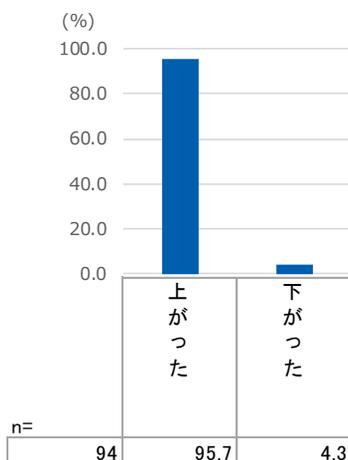
## 5-8. 条件変化の内容／賃金の変化

- 同じ仕事で就業条件などに変化があった人の、変化した事柄は下のとおり。「賃金」が変化するという人が最も多く59.2%で、「勤務時間（帯）」がそれに次いで20.9%、「休日」12.1%、「雇用形態」11.8%などとなっている。
- また、2016年調査において、賃金に変化があった人にどのように変化したのかを聞いたところ、「上がった」が95.7%にのぼった。

[2015年調査+2016年調査] Q.以下の変化はありましたか。（複数回答、対象：既婚、子供あり、同じ仕事で条件変化した人）



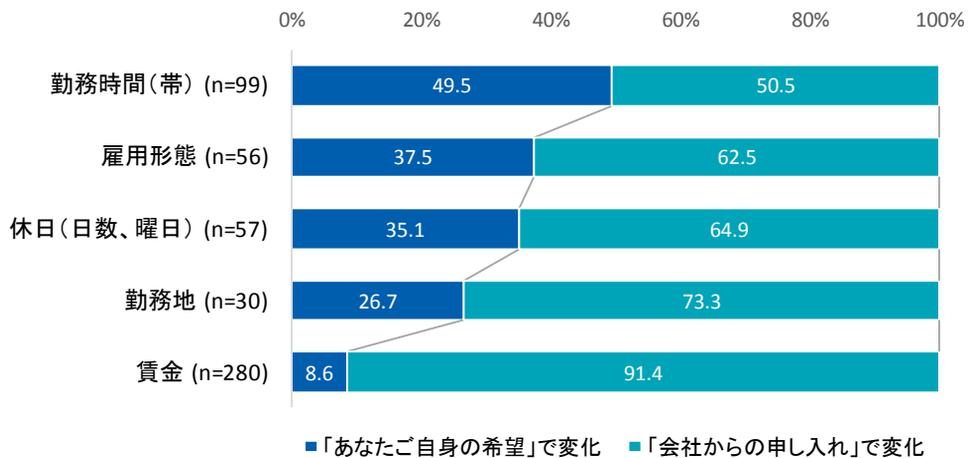
[2016年調査] Q.「賃金（時給、日給、月給）」はどのように変わりましたか。（単一回答、対象：既婚、子供あり、賃金に変化した人）



## 5-9. 条件変化を希望したか

- 就業条件などに変化があった人に、それは自分自身の希望で変化したのか、会社からの申し入れで変化したのかを聞いた。自分自身の希望で変化した割合は、「勤務時間（帯）」については49.5%などとなっている。賃金については8.6%と低い。
- 賃金が上がった理由を自由記述で聞くと、勤続年数やスキルが上がったからという自分側の理由、会社の業績が良かったからなどの会社側の理由、また最低賃金が上がったから、人手不足のためといった、社会的な理由などが挙げられた。

[2015年調査+2016年調査] Q.以下の点が変わったのは「あなたご自身の希望」で変化したものでしたか、「会社からの申し入れ」で変化したものでしたか。（単一回答、対象：既婚、子供あり、同じ仕事で条件変化した人）※n=30以上の項目のみ



[2016年調査] Q.以下の点が変わった理由を具体的に教えてください。—勤務時間（帯）／「賃金（時給、日給、月給）」が上がった理由を具体的に回答ください。（自由記述）

### 勤務時間（帯）が変わった理由

- 「子供が小学校に入学したので夕方勤務してほしいといわれた」（埼玉県、35歳、パート・アルバイト）
- 「社会保険加入のため時間をのばした」（愛知県、51歳、パート・アルバイト）

### 賃金（時給、日給、月給）が上がった理由

- 「勤務年数により上がった」（58歳、福岡県、パート・アルバイト）
- 「自分の作業スキルが上がった」（43歳、神奈川県、パート・アルバイト）
- 「会社の景気が上向いた」（67歳、神奈川県、パート・アルバイト）
- 「県の最低賃金が上がったから」（48歳、神奈川県、パート・アルバイト）
- 「人手不足で求人を出してもなかなか応募が来ず、給与をあげて募集をかけたため、全社で給料が底上げされた」（50歳、東京都、パート・アルバイト）